

8 . 普及事業

8.1 成果発表会

日頃の研究成果を企業および都民に普及を図るため、研究成果の発表会を開催した。発表は、環境技術、情報技術等の技術分野を中心に行った。

開催月日 平成13年10月3日
会場 都民ホール（東京都議会議事堂1階）
参加者 290名

都市廃棄物の再資源化と環境保全

| |
|---|
| 繊維廃棄物の再資源化 |
| 関口敏昭（テキスタイル技術グループ） |
| 繊維廃棄物の増大に伴い、最終処分が社会問題になっている。リサイクル促進のための再資源化技術の一環として炭素繊維廃材による生ごみ処理用資材を開発し、家庭用生ごみ処理機による処理実験を行った。 |
| 雑誌古紙と廃プラスチックを利用した再資源化 |
| 瓦田研介（資源環境技術グループ） |
| リサイクルが難しい廃フェノール樹脂と雑誌古紙から、吸着性能を有する炭素系パネルを試作した。性能を調べた結果、吸着能力を生かしたシックハウス対策用内装材としての利用などの用途開発が期待できる。 |

IT活用によるものづくり支援技術

| |
|---|
| 中小企業ホームページ支援システムの構築 |
| 土屋敏夫（情報システム技術グループ） |
| インターネット時代に適したサーバシステムの構築、ホームページ・メールアドレス・メールリングリストの作製、双方向画像伝送、セキュリティ等の要素技術について、中小企業団体・組合が分かり易く導入できる支援システムを開発した。 |
| 3次元CADを活用した設計製造の効率化 |
| 久慈俊夫（製品科学技術グループ） |
| 設計・製造現場で3次元CADとITの融合によるコンカレントエンジニアリングが注目を集めている。当所の3次元CAD/CAM/CAEへの取り組みと、デジタル情報を企業で活用する有効性についての解説、紹介。 |

三宅島火山灰を利用した技術開発

| |
|---|
| 三宅ガラスおよびセラミック材料の開発 |
| 鈴木 蕃（材料技術グループ長） |
| 三宅島の噴火で降り積もった火山灰からコップや小鉢などのガラス製品をつくった。海をイメージした青色のガラスで「三宅ガラス」と名付けた。また三宅島の復興に役立つセラミック材料も開発した。 |
| 三宅島火山灰の繊維染色への応用技術 |
| 池田善光（八王子分室） |
| 三宅火山灰を繊維の染色に利用し、特色あるプリント製品と植物染め製品を作ることができた。製造に当たっては、複雑な技術や高価な設備は不要で、しかも多彩な商品展開が可能のため、三宅島内における新しい産業として期待できる。 |

8.2 研究発表会

前年度までに得られた試験、研究、調査等の成果を発表し、これらの成果の普及を図るため、3庁舎（西が丘、墨田、八王子）に分けて研究発表会を開催し、併せて、要旨集を発行した。

| 開催月日 | 会場名 | 発表テーマ数 | 来聴者数 |
|----------------|--------------|--------|------|
| 平成13年10月31日(水) | 西が丘庁舎 第1～4教室 | 52 | 128名 |
| 平成13年11月1日(木) | 墨田庁舎 実習室 | 7 | 54名 |
| 平成13年11月2日(金) | 八王子庁舎 大会議室 | 8 | 35名 |

平成13年10月31日(水) 西が丘庁舎
計測応用 / 電気応用 / 情報システム

| | 題目 | 発表者 (印は講演者, []は産業技術研究所の各技術グループ) |
|----|-----------------------------|---|
| 1 | 超音波洗浄槽における不要共振の解析 | 長谷川徳慶・神田浩一[計測応用]、佐見津雅隆(墨田分室[前計測応用])、柳沢正樹・牧野晃浩・高田省一・加藤光吉[計測応用] |
| 2 | 超音波洗浄機の低騒音化 | 神田浩一・長谷川徳慶[計測応用]、佐見津雅隆(墨田分室[前計測応用])、柳沢正樹・牧野晃浩・高田省一・加藤光吉[計測応用] |
| 3 | 再生紙制振材を用いた動吸振器による床衝撃音対策 | 高田省一・牧野晃浩・神田浩一[計測応用]、佐見津雅隆(墨田分室[前計測応用])、柳沢正樹・長谷川徳慶・加藤光吉[計測応用] |
| 4 | 蓄光及び光触媒を利用した照明器具の開発 | 林 国洋・実川徹則・岩永敏秀[計測応用]、笹森宣文・中田修(企画普及課)、斎藤一夫(棟理工研) |
| 5 | PETボトルフレークの静電選別装置の性能安定化 | 殿谷保雄・山本克美・重松宏志[電気応用] |
| 6 | 循環型社会に対応した静電植毛加工製品の開発 | 殿谷保雄・山本克美・重松宏志[電気応用] |
| 7 | ペット廃棄物の汚れ表面の電氣的簡易評価法 | 山本克美・重松宏志・殿谷保雄[電気応用]、木崎 勝(城南地域中小企業振興センター) |
| 8 | 超音波治療器の簡易出力測定法 | 岡野 宏・河村 洋[電気応用] |
| 9 | 簡易電動機制御による電動台車の研究 | 山口 勇[電気応用]、榎本博司[情報システム]、菅原廣彦(棟菅原護謨工業所) |
| 10 | 廃蛍光管ガラスの水銀除去洗浄装置の開発 | 榎本博司[情報システム]、永井明良[電気応用]、橋本欣也(城南地域中小企業振興センター)、小坂幸夫[資源環境]、伊瀬洋昭(企画普及課)、加藤光吉[計測応用]、木崎 勝(城南地域中小企業振興センター) |
| 11 | 最近の生産技術設備における高効率・省エネ促進技術の動向 | 木崎 勝(城南地域中小企業振興センター)、榎本博司[情報システム]、橋本欣也(城南地域中小企業振興センター)、山口勇・永井明良・河村 洋・山本克美・重松宏志[電気応用]、並木喜正[製品科学技術グループ]、清水秀紀(城南地域中小企業振興センター)、松田 哲[製品科学]、西岡孝夫・山崎 実・横沢 毅・森 紀年[精密加工]、石井清一・滝田和宣(技術評価室)、牧野晃浩[計測応用] |

平成13年10月31日(水) 西が丘庁舎
情報システム / 技術評価室 / 電子

| | 題目 | 発表者 (印は講演者, []は産業技術研究所の各技術グループ) |
|---|---------------------|---|
| 1 | 微弱放射線線源による透過画像の画質改善 | 大畑敏美[情報システム]、小山元子[精密分析]、高田 茂(技術評価室)、清水秀紀(城南地域中小企業振興センター)、鈴木岳美[精密加工] |
| 2 | 超音波画像による骨観察装置の開発 | 高野哲寿・大畑敏美[情報システム]、井澤津久夫・谷澤俊嗣(東京都柔道接骨師会) |

| | 題 目 | 発 表 者 (印は講演者, []は産業技術研究所の各技術グループ) |
|----|-------------------------|---|
| 3 | 小型球体部品の表面キズ検出法の開発 | 大畑敏美・高野哲寿・宮島良一[情報システム] |
| 4 | LEDランプ及び電球の断線検出装置 | 宮島良一[情報システム]、平塚尚一[電子] |
| 5 | HDL(回路記述用言語)の制御システムへの応用 | 森 久直・坂巻佳壽美[情報システム] |
| 6 | 低領域標準抵抗器の校正における不確かさの評価 | 水野裕正・長谷川守一(技術評価室) |
| 7 | 雷サージによる配電用避雷器の特性評価 | 滝田和宣・石井清一・高田 茂・亀山行雄(技術評価室) |
| 8 | 純金属溶融法による高温用熱電対の特性 | 尾出 順(技術評価室)、小川実吉(㈱横河総合研究所)、宮下誠一(石福金属興業㈱)、後藤昌彦(玉川大工) |
| 9 | スピノングラスを用いたp-n接合形成 | 上野武司・加沢エリト[電子] |
| 10 | マイクロマシン技術を用いたプローブアレイの作製 | 加沢エリト・上野武司[電子] |
| 11 | マイクロマシン用金属薄膜の高性能化 | 佐々木智恵[電子]、楊 明(都立大大学院) |
| 12 | 三次元小型アンテナの開発 | 山田万寿雄・寺井幸雄・小林丈士・天早隆志[電子]、渡辺耕士(企画普及課)、大森 学(城東地域中小企業振興センター) |
| 13 | 電動自転車のための駆動制御技術 | 三上和正[電子]、坂巻佳壽美[情報システム]、渡辺耕士(企画普及課)、李 金山(㈱日本リサイクリングシステム) |

平成13年10月31日(金) 西が丘庁舎
表面/精密加工/製品科学

| | 題 目 | 発 表 者 (印は講演者, []は産業技術研究所の各技術グループ) |
|----|-------------------------------------|--|
| 1 | アルミニウムダイカスト合金の溶湯酸化における亜鉛の影響 | 佐藤健二[表面]、藤沢正尚(城南地域中小企業振興センター)、高田 茂(技術評価室) |
| 2 | イオン化蒸着法による窒素添加DLC膜の生成 | 森河和雄・三尾 淳・渡部友太郎・仁平宣弘[表面] |
| 3 | イオン化蒸着法によるDLC膜の熱的特性 | 三尾 淳・渡部友太郎・森河和雄・仁平宣弘[表面] |
| 4 | TiAIN膜のトライボ特性に及ぼす摩擦環境の影響 | 仁平宣弘・三尾 淳・渡部友太郎[表面] |
| 5 | レーザ合金化法によるSUS304の耐食性向上 | 一色洋二[表面] |
| 6 | クエン酸を用いた電気ニッケルめっき浴のめっき特性 | 土井 正・水元和成・茅島正資・田中慎一[表面] |
| 7 | セラミックス工具を用いた亜鉛めっき鋼板の無潤滑絞り加工 | 基 昭夫・片岡征二・佐々木武三[精密加工]、加藤光吉[計測応用]、石田直洋(企画普及課) |
| 8 | 小径ドリル穴あけにおける高速加工・高能率化 | 西岡孝夫・森 俊道・中条知和[精密加工]、鈴木節男(企画普及課)、小池忠雄(㈱長津製作所) |
| 9 | 焼結ダイヤモンド工具の超音波研削加工特性 | 横澤 毅[精密加工]、長谷川徳慶[計測応用]、小玉 満・田中信一・山崎 学(日本電子工業㈱)、和井田 徹(産業技術総合研) |
| 10 | 微細放電加工機による微細穴の加工技術開発 | 森 紀年・山崎 実[精密加工]、國枝正典(東京農工大) |
| 11 | レプリカによる内側形状測定 | 澤近洋史・中条知和・樋田靖広[精密加工] |
| 12 | 最適レギュレータ及びスライディングモード制御による弾性アームの外乱抑圧 | 松田 哲・小金井雅彦・園田 卓・久慈俊夫[製品科学] |
| 13 | ボルト側方装着型ナットのための専用工具の開発 | 清水秀紀(城南地域中小企業振興センター)、田辺友久・星野美土里・並木喜正[製品科学]、鈴木岳美[精密加工]、下平くらち・隠岐秀明(㈱フォス) |

平成13年10月31日(金) 西が丘庁舎
製品科学/放射線応用/精密分析/材料/資源環境

| | 題 目 | 発 表 者 (印は講演者, []は産業技術研究所の各技術グループ) |
|----|-----------------------------------|---|
| 1 | ユニバーサルデザイン支援データベースの試作 | 三好 泉[製品科学]、秋山 正[アパレル] |
| 2 | 電子線を用いた合成繊維への厚膜プリント技術 | 伊藤 寿[放射線応用]、榎本一郎[テキスタイル] |
| 3 | 線照射したセラミックス電子材料における空間電荷 | 福地良一・関口孝之[放射線応用] |
| 4 | CD-Rによる園芸植物動画像制作と画質評価 | 重松康司[放射線応用]、榎本博司・高野哲寿・大畑敏美[情報システム] |
| 5 | イオン加速器を利用した複合イオンビーム分析法の開発 | 中村 優[精密分析]、伊瀬洋昭(企画普及課) |
| 6 | ウサギ腹膜を介したアルブミン移動量の測定 | 小山元子・谷崎良之[精密分析]、酒井 旭・府川知美(エイエスエイ産業㈱)、山下明泰(湘南工大) |
| 7 | 天然物を利用した吸水性材料の開発 | 山本 真[材料] |
| 8 | 都市廃棄物を利用した建材用結晶化ガラスの開発 | 小山秀美・田中 実・大久保一宏・鈴木 蕃[材料] |
| 9 | 三宅ガラスの開発 | 大久保一宏・鈴木 蕃・小山秀美・田中 実・陸井史子[材料] |
| 10 | ほうふっ化物含有排水中のほう素及びふっ素の処理方法 | 東 邦彦・長谷川明良・大塚健治[資源環境] |
| 11 | フェントン法を用いた無電解ニッケルめっき廃液処理の考察 | 大塚健治・東 邦彦[資源環境]、李 柄大・中井智司・細見正明(東京農工大工学部) |
| 12 | 古紙活性炭の賦活条件が細孔構造に及ぼす影響 | 飯田孝彦・瓦田研介[資源環境] |
| 13 | 廃プラスチックと雑誌古紙で調製した炭素系パネルの曲げ特性と微細構造 | 瓦田研介[資源環境]、中波寛敬(東京農工大農学部)、飯田孝彦[資源環境]、岡山隆之(東京農工大農学部)、和久寿男(東洋インキ製造㈱)、榎本有宏(㈱リーテック) |

平成13年11月 1日(木) 墨田庁舎
製品評価/機能評価/ニット/アパレル

| | 題 目 | 発 表 者 (印は講演者, []は産業技術研究所の各技術グループ) |
|---|-----------------------------------|---|
| 1 | 羊毛ニット生地 of 摩擦堅牢度に及ぼす試験条件の影響 | 青木郁子(墨田分室)、古田博一[テキスタイル]、宇井 剛・添田 心(墨田分室) |
| 2 | パンツの間隙量と衣服圧、着用感の関係 | 山本真理子・岩崎謙次・堀江 暁(墨田分室) |
| 3 | 水系クリーニングに対応した婦人ジャケット | 中村 宏・小林敏信・小林かほる・小柴多佳子[ニット] |
| 4 | ニット製品製造支援システムの開発 | 飯田健一・竹内由美子・池上夏樹[ニット] |
| 5 | 高感度製品開発技術のマニュアル化 | 平山明浩・黒田良彦・藤田薫子[アパレル] |
| 6 | 衣料への錯視表現技法の応用 | 秋田 実[アパレル]、藤田 茂(八王子分室)、小高久丹子・秋山 正[アパレル] |
| 7 | 2002年のファッション傾向について - ADIを用いて - | 嶋 明[アパレル] |

平成13年11月 2日(金) 八王子庁舎
 素材評価/繊維物性/ニット/テキスタイル

| | 題 目 | 発 表 者 (印は講演者, []は産業技術研究所の各技術グループ) |
|---|------------------------|--|
| 1 | キセノンアーク灯光に対する染色堅牢度試験 | 吉田弥生・池田善光・小林育代・福島富子(八王子分室) |
| 2 | ウール/ナイロン混紡ニットの着色オパール加工 | 小林研吾・木村千明・吉田英敏[テキスタイル] |
| 3 | 織物密度可変技術を応用したネクタイの開発 | 片桐正博・原 秀樹・宮本 香[テキスタイル] |
| 4 | 新規紬織物の開発 | 原 秀樹[テキスタイル] |
| 5 | きものの意匠と色彩構成 | 窪田 宏・小林洋子[テキスタイル] |
| 6 | 成形編における立体効果 | 竹内由美子・池上夏樹・飯田健一[ニット] |
| 7 | 球状炭素繊維成型物の生ごみ処理への応用 | ○関口敏昭・山本清志・樋口明久[テキスタイル] |
| 8 | ダブルカバリング撚糸機による意匠撚糸の開発 | 樋口明久・原 秀樹・原島勝子・山本悦子[テキスタイル]、池上夏樹[ニット] |

8.3 施設公開

科学技術週間中に当所の主要施設，設備を中小企業及び一般都民に公開し、各種事業の理解を得るとともに、産業技術の普及を図った。

施設公開のキャッチフレーズを次のとおり設定し、施設公開の普及に努めた。

「みてふれて 体験しよう 科学の不思議」

入場者数は全庁舎合計3,434名(西が丘庁舎1,264名、駒沢庁舎599名、墨田庁舎255名、八王子庁舎1,316名)であった。

1 公開日

西が丘庁舎 平成13年4月20日(金)、21日(土)
 駒沢庁舎 平成13年4月13日(金)、14日(土)
 墨田庁舎 平成13年4月24日(火)、25日(水)
 八王子庁舎 平成13年4月17日(火)、18日(水)

2 公開内容

1) 西が丘庁舎

記念講演(講堂)

4月20日(金)

東京大学大学院 情報学環・学際情報学府教授 坂村 健 氏

「どこでもコンピュータによる21世紀の電腦社会
 - 情報技術の進展と中小企業の対応 - 」

三宅島火山灰利用技術 展示 (本館2階ロビー)

三宅ガラス、溶射技術、染色・プリント応用技術、コンクリート建材への応用等
 三宅島ふれあいの場 (本館2階第2会議室)

火山灰利用陶芸作品の展示

三宅島現地状況写真展示・ビデオ上映

がんばれ三宅島・伊豆諸島 (本館2階食堂前)

三宅島・伊豆諸島特産品展示・即売

商工行政・技術専門校コーナー (本館1階ミーティングルーム)

産業労働局の商工行政や技術専門校の案内

産学公連携コーディネーター相談（本館1階）

各日 10:00～12:00 繊維・その他分野、機械・金属分野

各日 13:00～15:00 化学・環境・リサイクル分野、電気・電子分野

21日 13:00～15:00 情報通信分野

実験室，公開室の公開 合計37室

体験教室

ギヤマン彫り体験、IC工作教室「電子オルゴールの製作」、マスコット製作

パソコン教室（表計算ソフト「EXCEL」入門）、3次元CAD/CAM体験教室、

UVアート他

2) 駒沢庁舎

記念講演（講堂）

4月14日(土)

東京都中小企業支援センター サブマネージャー 千坂 治雄 氏

「ひらめき」を新製品につなげよう

所内施設公開

1号館 ロビー，講堂，1階廊下

2号館 実験室2室，廊下

3号館 コバルト照射室，電子線照射室，イオン加速器室

4号館 環境放射能測定室，相談室

体験・実演（講堂）

UVアート、ギヤマン彫り体験、マスコット製作、静電気実験他

他庁舎紹介展示（1号館2階）

三宅島火山灰利用技術、繊維技術他

3) 墨田庁舎

ポスターセッション等(実習室) 研究成果パネルの掲示説明、他庁舎研究紹介
三宅ガラス・三宅島火山灰プリントの紹介

体験コーナー(実習室) 熱転写プリント

所内一般公開

・墨田分室 : 引張強さ試験・摩耗試験機の実演、繊維製品クレーム品展示説明
繊維の顕微鏡観察実演、染色堅ろう度説明

・アパレル技術グループ : ダイレクトプリンタ・型紙作成システム・スポンジング機の実演
素材データベースの説明、流行情報・テキスタイル柄の説明

・ニット技術グループ : 非接触三次元計測装置説明、丸編機・横編機の実演
サーマルマネキン・サーモグラフィの実演

リンキング機・靴下編機・手袋編機の説明
走査型電子顕微鏡の説明、浸染及びプリントの説明

印刷物の配布 ADI、テクノ東京21

4) 八王子庁舎

ポスターセッション(大会議室) 研究成果パネルの掲示説明、他庁舎研究紹介
三宅島関連展示コーナー(小会議室)

所内一般公開

・デザイン企画室 : デザイン作成コンピュータ実演
ファッションショー衛星放送放映

・織物試験工場 : 各種織機の実演・展示

・撚糸試験工場 : 各種撚糸機の実演・展示、組み紐配布

・ニット試験工場 : 各種編み機の実演・展示

・捺染試験工場 : インクジェットプリントシステムの実演・展示

・浸染試験工場 : 各種浸染機器の実演・展示

・素材評価試験室 : 繊維の鑑別、染色堅ろう度試験の紹介、クレーム事例の紹介

印刷物の展示配布 ADI、テクノ東京21、和

8.4 施設見学

企業・業界団体、都・区の関係部署及び一般都民等からの要望に応じて、団体見学を随時実施し、当所のPRを積極的に行った。

平成13年度の実績は次のとおりであった。(施設公開を除く)

| | 西が丘庁舎 | 駒沢庁舎 | 墨田庁舎 | 八王子庁舎 | 合計 |
|---------|-------|------|-------|-------|-------|
| 件数(件) | 310 | 114 | 120 | 29 | 573 |
| 見学者数(名) | 1,669 | 458 | 1,031 | 362 | 3,520 |

主な見学者

都議会議員

東京設計管理研究会

新潟県工業技術総合研究所 素材応用技術支援センター

大韓民国 大学研修

ドイツ連邦共和国 ブレーメン大学

(株)ミットヨ

東京都金属プレス工業会 城北支部青年部会

日本真空協会

赤外線学会

東京農工大学環境資源科学科

中小企業庁 経営支援部 技術課長

東京商工会議所

中小企業庁 経営支援部 技術課長

QCサークル事業所見学交流大会

経済産業省経済産業政策局 調査統計部統計企画解析課 経済産業研究所 客員研究官

JICA(パラグアイ)研修生

社団法人 日本アルミニウム協会 見学会

宮崎県工業技術センター 機械電子・デザイン部

日本NCSL(標準研究所会議日本支部)

板橋区板橋新中小企業グループ

広島県立東部工業技術センター 応用加工技術部

広島県西部工業技術センター

国分寺市商工会 異業種交流会

財団法人 太平洋人材交流センター

社団法人 東京都金属プレス工業会

横浜税関業務部

東京都クリーニング生活衛生同業組合

東京ネクタイ協同組合

百貨店協会品質管理部

兵庫県立生活科学研究所

埼玉県工業技術センター北部研究所

文化女子大学

昭和女子大学

駒沢女子短期大学

東京クリーニング学校

東京タオル卸商業組合

8.5 展示会への出展

都内中小企業や都民に当研究所の成果をパネルやサンプル、デモ実験、模型の展示などを用いて、紹介・普及した。また、都内産業及び都民生活と研究所の業務がどのように関連しているかをわかりやすく説明し、啓蒙・周知に努めた。

| No | 主催 | 展示会名 | 開催日 | 場所 |
|----|----------------------|--|-------------------------------|------------------|
| 1 | 建築リフォーム&リニューアル展組織委員会 | 第7回建築リフォーム&リニューアル展 | 平成13年 6月21日(木)～平成13年 6月23日(土) | 東京ビッグサイト |
| 2 | ガンマフィールドシンポジウム委員会 | 第40回ガンマフィールドシンポジウム突然変異 | 平成13年 7月11日(水)～平成13年 7月12日(木) | 農林水産技術会議事務局 |
| 3 | (社)日本分析化学会関東支部 | 第5回分析化学東京シンポジウム・2001機器分析東京討論会(千葉、2001) | 平成13年 9月 5日(水)～平成13年 9月 7日(金) | 幕張メッセ |
| 4 | 第3回三宅島島民ふれあい集会実行委員会 | 第3回三宅島島民ふれあい集会～考えよう!三宅島の今とこれから～ | 平成13年 9月30日(日) | 港区芝浦小学校 |
| 5 | 東京都 | 東京産業交流展2001 | 平成13年10月10日(水)～平成13年10月11日(木) | 東京ビッグサイト |
| 6 | 全国繊維工業技術協会 | 第39回全国繊維技術交流プラザ | 平成13年10月20日(土)～平成13年10月21日(日) | 西脇市総合市民センター(兵庫県) |
| 7 | いたばし産業見本市実行委員会 | 第5回いたばし産業見本市 | 平成13年10月25日(木)～平成13年10月27日(土) | 板橋区立東板橋体育館 |
| 8 | 東京都立板橋技術専門校 | 板橋技術専門校技能祭 | 平成13年11月 3日(土) | 板橋技術専門校 |
| 9 | 東京都立赤羽技術専門校 | 赤羽技術専門校技能祭 | 平成13年11月 3日(土) | 赤羽技術専門校 |
| 10 | (社)日本システムハウス協会 | MST2001 | 平成13年11月20日(火)～平成13年11月22日(木) | 東京ビッグサイト |
| 11 | 町田市テクノフェア2002実行委員会 | 町田市テクノフェア2002 | 平成14年 2月 8日(金)～平成14年 2月 9日(土) | 成瀬総合体育館 |
| 12 | 大田区、(財)大田区産業振興協会 | 第6回おおた工業フェア | 平成14年 2月14日(木)～平成14年 2月16日(土) | 大田区産業プラザ PiO |

8.6 刊行物

所の前年度の事業をまとめた「年報」、「事業概要」、研究課題ごとにその全体像を紹介した「研究報告」、研究発表会の内容をまとめた「研究発表会要旨集」、特定の技術について解説した「技術ガイド」のほか、多種の刊行物を発行して事業の普及に努めた。

| 刊行物 | 部数 |
|------------------------------|--------|
| 事業案内(4頁版) | 4,000 |
| 事業案内(12頁版) | 14,000 |
| 事業案内(2頁版) | 14,000 |
| 放射線利用施設の案内 | 4,000 |
| 平成13年度 事業概要 | 650 |
| 年報(平成12年度) | 1,000 |
| 研究発表会 プログラム | 5,000 |
| 産技研技術セミナー 要旨集 | 500 |
| 研究発表会 要旨集 | 500 |
| 研究報告 第4号 | 1,000 |
| 技術ガイド ここまで出来る放電加工 | 200 |
| 繊維パンフレット 不織布のはなし | 3,000 |
| 繊維技術ハンドブック クレーム事例編 | 2,000 |
| 繊維の話 | 2,000 |
| アパレルデザインインフォメーション(ADI) No.54 | 2,000 |
| アパレルデザインインフォメーション(ADI) No.55 | 2,000 |
| 情報誌 和 No.8 | 1,000 |

8.7 テクノ東京 2 1

産業労働局では、局内の商工関係試験研究機関技術ニュース「テクノ東京 2 1」を、毎月 1 回発行しており、当所は、研究内容等の原稿執筆及び編集企画協力を行っている。
平成 1 3 年度における当所の執筆内容は、次のとおりである。

| 発行年月 | 内 容 | | 所 属 | 執筆者名 |
|----------|--------------|--|------------------|----------------|
| 平成13年 4月 | 表紙写真 研究紹介 | 特殊な医療用具バイオバーデン（ＢＢ）の評価と 放射線滅菌 | 放射線応用 技術グループ | 関口 正之 |
| | TECHNOずいそう | 連携とネットワーク | 所長 | 村田 裕滋 |
| | 研究紹介 | 工場排水中のほう素の除去 - めっき排水中のほう素除去法 - | 資源環境技術 グループ | 東 邦彦 |
| | 技術解説 | 放電加工 | 精密加工 技術グループ | 山崎 実 |
| | 技術解説 | 高分子を組み合わせる | テキスタイル 技術グループ | 山本 清志 |
| | 設備紹介 | 高温 X 線回折装置 | 材料技術グループ | 田中 実 |
| 平成13年 5月 | 事業紹介 | 平成 1 3 年度事業紹介 | 企画普及課 | 企画調整係 |
| | 事業紹介 | 平成 1 3 年度研修・講習会の紹介 | 企画普及課 | 普及係 |
| | 事業紹介 | 平成 1 3 年度研究テーマの紹介 | 企画普及課 | 企画調整係 |
| | 研究紹介 | ポリウレタン入りニット製品の品質向上 | ニット技術グループ | 池上 夏樹 |
| | 設備紹介 | 3次元CAD/CAM/CAEシステム | 製品科学 技術グループ | 久慈 俊夫 |
| | 技術解説 | IT産業を支える有機材料 | 材料技術グループ | 上野 博志 |
| | 裏表紙 | ウィンドウズによる計測・データ処理 《BASICからWindowsへ》 | 技術評価室 | 長谷川 守一 |
| 平成13年 6月 | 研究紹介 | 「顔料捺染品の縫製時の汚染防止法」 | 八王子分室 | 池田 善光 小林 育代 |
| | 研究紹介 | オーステンパ球状黒鉛鑄鉄の切削 | 表面技術グループ | 横山 哲男 |
| | 技術解説 | 窒素酸化物による繊維製品の変色 | テキスタイル 技術グループ | 古田 博一 |
| | 技術解説 | 「ネットワークセキュリティ」 | 情報システム 技術グループ | 山田 一徳 原田 一紀 |
| | 技術解説 | 「シリコンマイクロマシン技術によるマイクロブ リッジとセンサ応用」 | 電子技術グループ | 加沢 エリト |
| | 設備紹介 | 「生体情報計測用多用途テレメータ装置」 | 電気応用 技術グループ | 河村 洋 |
| | 裏表紙 | 「2002年テキスタイル素材傾向」 | テキスタイル 技術グループ | 小林 洋子 |
| 平成13年 7月 | 研究紹介 | 衣服の錯視表現技法の応用 | アパレル 技術グループ | 秋田 実 |
| | 研究紹介 | 高齢社会に対応したデザイン開発 - 製品のユニバーサル化研究 - | 製品科学 技術グループ | 三好 泉 |
| | 技術解説 | 最近のニット技術 | ニット技術グループ | 池上 夏樹 |
| | 裏表紙 | 音を見る | 計測応用 技術グループ | 神田 浩一 |

| 発行年月 | 内 容 | | 所 属 | 執筆者名 |
|----------|--------------------|--|------------------|--------|
| 平成13年 8月 | 表紙写真 TECHNOずいそう | 中小企業の製品開発について考える | 生産技術部長 | 本阿弥 忠彦 |
| | 研究紹介 | ノイズ簡易測定用EMIプローブの開発 | 電子技術グループ | 山田 万寿雄 |
| | 研究紹介 | 球形繊維成型物の生ゴミ処理機への応用 | テキスタイル 技術グループ | 関口 敏昭 |
| | 技術解説 | イメージングプレートで放射能を測定する | 精密分析 技術グループ | 小山 元子 |
| | 技術解説 | 空中の微生物をはかる（環境微生物の測定） | 放射線応用 技術グループ | 細瀬 和成 |
| | 技術解説 | 電食とは？ | 表面技術グループ | 田中 慎一 |
| | 裏表紙 | 2002年春夏色彩傾向 | アパレル 技術グループ | 嶋 明 |
| 平成13年 9月 | 研究紹介 | 羊毛ニット生地の実験条件による摩耗堅牢度の相違 | 墨田分室 | 青木 郁子 |
| | 研究紹介 | ポリウレタン樹脂塗料の防かび効果の向上 | 資源環境 技術グループ | 宮崎 巖 |
| | 技術解説 | 塗装用マイクロファイバー製ローラブラシ - 低粘度塗料に威力発揮！驚異の新機能 - | 製品科学 技術グループ | 鈴木 雅洋 |
| | 裏表紙 | セラミック工具による無潤滑絞り加工 垂鉛めっき鋼板の絞りに炭化珪素が有望 | 精密加工 技術グループ | 基 昭夫 |
| 平成13年10月 | 表紙 技術解説 | 色の測り方 | 計測応用 技術グループ | 實川 徹則 |
| | 研究紹介 | 照射肉の炭化水素法による検知 | 精密分析 技術グループ | 後藤 典子 |
| | 研究紹介 | 電子線硬化を利用した厚膜プリント技術の開発 | 放射線応用 技術グループ | 伊藤 寿 |
| | 研究紹介 | 水系クリーニングに対応した婦人ジャケット | ニット技術グループ | 中村 宏 |
| | 技術解説 | ユニバーサルファッション | アパレル 技術グループ | 藤田 薫子 |
| | 技術解説 | プラスチック産業廃棄物の有効利用 | 材料技術グループ | 山本 真 |
| 平成13年11月 | 表紙 特集号 | 三宅島火山灰の利用技術について | 八王子分室 | 坂巻 佳壽美 |
| | | | 製品科学 技術グループ | 斉藤 晋 |
| | | | 精密加工 技術グループ | 基 昭夫 |
| | 特集号 | 3次元CADによるものづくり工程の革新 | 製品科学 技術グループ | 久慈 俊夫 |
| | 特集号 | 中小企業ホームページ支援システムの開発 | 情報システム 技術グループ | 土屋 敏夫 |
| | 特集号 | 産業技術研究所のホームページについて | 企画普及課 | 児島 芳邦 |
| | 特集号 | 高度情報化人材育成用マイコン教材の開発 | 情報システム 技術グループ | 森 久直 |
| 裏表紙 | ITでファッション製品を売る | アパレル 技術グループ | 阿保 友二郎 | |
| 平成13年12月 | 研究紹介 | 超音波治療器の超音波出力簡易測定方法 | 電気応用 技術グループ | 岡野 宏 |
| | 研究紹介 | リサイクルしやすい着色びんの作製 | 材料技術グループ | 陸井 史子 |

| 発行年月 | 内 容 | | 所 属 | 執筆者名 |
|----------|------------------|-------------------------------|------------------|--------|
| 平成13年12月 | 研究紹介 | 炭素イオン注入によるTiN膜の摺動特性改善 | 表面技術グループ | 三尾 淳 |
| | 技術解説 | 繊維製品の帯電防止性能の評価方法 | 八王子分室 | 川原井 通義 |
| | 開催報告 | 産技研技術セミナー | 企画普及課 | 普及係 |
| | FASHION EYE | New Black & Geometric Pattern | アパレル 技術グループ | 秋山 正 |
| 平成14年 1月 | 研究紹介 | プリズムを使った昼光利用技術 | 計測応用 技術グループ | 岩永 敏秀 |
| | 研究紹介 | ダブルカバリング燃糸機による意匠燃糸の開発 | テキスタイル 技術グループ | 樋口 明久 |
| | 研究紹介 | 統計的手法を用いた介在物の定量 | 精密分析 技術グループ | 佐々木 幸夫 |
| | 設備紹介 | 滅菌器内の温度測定システム | 放射線応用 技術グループ | 細瀬 和成 |
| | 技術解説 | 電子回路CADとシミュレーション | 電子技術グループ | 小林 丈士 |
| | 設備紹介 | 電波暗室 | 電子技術グループ | 山田 万寿雄 |
| | 設備紹介 | 座圧・把持力分布測定装置 圧力分布を視覚で観察 | 電気応用 技術グループ | 河村 洋 |
| 平成14年 2月 | 表紙 TECHNOずいそう | 繊維製品のリサイクル | 製品技術部長 | 番場 紀久雄 |
| | 研究紹介 | マグネシウム合金への無電解ニッケルめっき前処理方法 | 表面技術グループ | 水元 和成 |
| | 技術解説 | 広い分野で活躍する繊維 | ニット技術グループ | 吉野 学 |
| | 設備紹介 | ECRイオンシャワー装置 | 電子技術グループ | 加沢 エリト |
| | がんばっている 中小企業 | 自然光を利用する「光ダクトシステム」の開発 | 計測応用 技術グループ | 岩永 敏秀 |
| | 調査報告 | 三宅島火山灰の利用可能性に関する現地調査報告 | 生産技術部長 | 本阿弥 忠彦 |
| | FASHION EYE | 2002～2003年秋冬色彩傾向 | アパレル 技術グループ | 嶋 明 |
| 平成14年 3月 | 表紙 技術解説 | 静電植毛加工技術と応用製品 | 電気応用 技術グループ | 殿谷 保雄 |
| | 研究紹介 | 廃プラスチックと雑誌古紙を使った環境浄化材の作製 | 資源環境 技術グループ | 瓦田 研介 |
| | 研究紹介 | 電極消耗によるマイクロ放電加工法 | 精密加工 技術グループ | 山崎 実 |
| | 技術解説 | 顕微鏡のニューフェース X線顕微鏡と原子間力顕微鏡 | 精密分析 技術グループ | 金城 康人 |
| | 技術解説 | 布地の斜行、衣服のねじれ | 墨田分室 | 村井 中 |
| | 開催報告 | 第17回 東京都異業種交流プラザ合同交流会 | 企画普及課 | 渡邊 耕士 |
| | 裏表紙 | 繊維製品のクレーム事例 | 八王子分室 | 田中 みどり |

8.8 資料収集

試験、研究、指導事業の実施において技術資料の収集・活用は欠くことのできないものである。このため、国内外の専門雑誌・図書・技術文献等を購入すると共に、国、地方自治体、業界団体、大学、企業ならびに東京都の主に研究機関を含む関係機関から寄贈を受けたものを所内各部門の利用に供している。

平成14年3月現在の蔵書数・学術雑誌等は次のとおりである。

| | 西が丘庁舎 | 駒沢庁舎 | 墨田庁舎 | 八王子庁舎 |
|-----------|--------|--------|------------|-------|
| 蔵書数(冊) | 48,720 | 14,682 | 3,032 | 4,260 |
| 内訳 | | | | |
| 和書(冊) | 32,621 | 6,032 | 2,925 | 3,903 |
| 洋書(冊) | 16,099 | 8,650 | 107 | 357 |
| 受け入れ雑誌 | 922 | 29 | 122(2庁舎合計) | |
| 内訳 | | | | |
| 購入 和雑誌(種) | 106 | 6 | 34 | 22 |
| 寄贈 和雑誌(種) | 774 | 18 | 47(2庁舎合計) | |
| 購入 洋雑誌(種) | 42 | 5 | 12 | 7 |
| 欧文雑誌(種) | 42 | 68 | 12 | 7 |
| 和文雑誌(種) | 880 | 22 | 103(2庁舎合計) | |

8.9 図書管理

収集した資料は分類、整理、製本、登録等の後、配架して利用に供している。平成13年度に入庫処理した冊数は下記のとおりである。

| 区分 | 内外 | 西が丘庁舎 冊数(冊) | | | 駒沢庁舎 冊数(冊) | | |
|----|----|-------------|-------|-------|------------|-----|-----|
| | | 購入 | 寄贈 | 計 | 購入 | 寄贈 | 計 |
| 図書 | 国内 | 452 | 15 | 467 | 10 | 14 | 24 |
| | 外国 | 71 | 3 | 74 | 2 | 0 | 2 |
| 雑誌 | 国内 | 1,257 | 3,171 | 4,428 | 48 | 156 | 204 |
| | 外国 | 434 | 0 | 434 | 107 | 48 | 155 |
| 合計 | | 2,214 | 3,189 | 5,403 | 167 | 218 | 385 |

| 区分 | 内外 | 墨田庁舎 | 八王子庁舎 | 墨田・八王子庁舎 |
|----|----|---------|-------|----------|
| | | 購入冊数(冊) | | 寄贈冊数(冊) |
| 図書 | 国内 | 58 | 46 | 0 |
| | 外国 | 4 | 2 | 0 |
| 雑誌 | 国内 | 352 | 214 | 270 |
| | 外国 | 114 | 50 | 0 |
| 合計 | | 528 | 312 | 270 |

8.10 インタ - ネット・ホ - ムペ - ジ

所の事業・成果を広く普及するために、平成9年度からホ - ムペ - ジを開設した。毎年改善を図って、内容を充実し、効果的な広報と使い易さを向上させる等の努力をしている。

今年度は当所の利用者が必要書類をWeb上で取りだせるような試みも行った。

アクセス件数は、開設当初は年間で5千件未満だったが、13年度末では約9万5千件に達した。

公開している内容は下記のとおりである。

- 1 最新情報・催事情報
- 2 事業概要
 - 2・1 試験事業
利用手続き、依頼試験手数料、技術評価室の案内
 - 2・2 研究事業
テ - マ・発表会要旨・報告書・所外発表
研究テ - マ（技術開発研究、経常研究等）一覧
研究発表会・報告書要旨、所外発表要旨
実用化・共同開発事例集（刊行物）、研究報告・年報（刊行物）
 - 2・3 相談・指導・普及事業
相談・指導一般、受託事業（研究・試験・指導等）、普及事業等の業務の紹介
研修・講習の年間予定、分野別技術支援事業、共同開発研究募集案内
施設公開、産学公連携、技術ガイド（刊行物）
 - 2・4 異業種交流事業
- 3 公開特許情報
- 4 主要設備一覧
- 5 各課・室・研究グループの紹介
- 6 その他の情報
「関東甲信越静バーチャル公設試」、他のサーバへのリンク
三宅島火山灰利用技術、外部評価結果の発表等
- 7 交通案内

英文ホ - ムペ - ジ

- 1 研究所の概要
- 2 組織
試験、研究、指導
- 3 交通案内

産業技術研究所のホ - ムペ - ジアドレス（URL）とE-mail アドレスは以下のとおりである。

URL <http://www.iri.metro.tokyo.jp/>
E-mail system@iri.metro.tokyo.jp

8.11 マスコミ報道

1) テレビ報道・ラジオ報道

| 放映日時 | テレビ・ラジオ局・番組名 | 内 容 |
|------------|----------------------|----------------|
| H13. 4. 18 | 東京MXテレビ「東京インフォメーション」 | 三宅島火山灰利用染色への応用 |
| 4. 25~30 | 八王子テレメディア「ニュース」 | 八王子庁舎施設公開の紹介 |
| 5. 9 | F M J-WAVE「プライムアングル」 | 三宅ガラスの開発 |
| 5. 30 | 日本テレビ「ニュース プラスワン」 | 超音波波形の撮影 |
| 6. 26 | CBCラジオ「いまどきインデックス」 | 三宅ガラスを地場産業に |
| H14. 1. 27 | TBSテレビ「ビジネスズームアップ」 | 直射日光を遮る「調光ガラス」 |
| 2. 17 | 日本テレビ「特命リサーチ200X」 | 蛍光X線分析の試験の様子 |
| 3. 27 | NHKテレビ「ためしてガッテン」 | ウールの顕微鏡写真 |

2) 新聞・雑誌報道

| 掲 載 日 | 新 聞・雑誌名 | 内 容 |
|-----------|--------------|-----------------------|
| H13. 4. 1 | 広報・東京都 | 試験研究機関を公開します |
| 4. 6 | 日経産業新聞 | ラドン、安全に測定 |
| 4. 17 | 東京新聞 | 三宅島火山灰の染色への応用 |
| 4. 17 | 産経新聞 | 三宅島火山灰の染色への応用 |
| 4. 17 | 朝日新聞 | 三宅島火山灰の染色への応用 |
| 4. 17 | 読売新聞 | 三宅島火山灰の染色への応用 |
| 4. 17 | 毎日新聞 | 三宅島火山灰の染色への応用 |
| 4. 18 | 朝日新聞 | 三宅島火山灰を利用した陶芸展示 |
| 4. 26 | 日刊工業新聞 | 三宅島火山灰を利用した建材開発 |
| 5. 9 | 塗料報知 | マイクロファイバー製ローラカバー展示・紹介 |
| 5. 27 | 朝日新聞 | ロボットが弟子「伝えたこの腕」 |
| 5. 28 | 日本工業新聞 | ボルトナットに防犯機能 |
| 5. 18 | 読売新聞 | 三宅島火山灰を利用した建材開発 |
| 6. 20 | 毎日新聞 | 三宅島火山灰を利用した建材開発 |
| 6. 25 | 北区商工通信 | 産業技術研究所紹介 |
| 6. 26 | 東京新聞 | 三宅島ガラスをダイエーで販売 |
| 6. 26 | 朝日新聞 | 三宅島ガラスをダイエーで販売 |
| 6. 27 | 読売新聞 | 三宅島ガラスをダイエーで販売 |
| 6. 27 | 染織経済新聞 | 顔料捺染の縫製時の汚れの原因解明 |
| 7. | プレス技術7月号 | プレス加工のドライ技術 |
| 7. 2 | 日刊工業新聞 | 三宅島ガラスをダイエーで販売 |
| 8. | 朝日タウンボイス | 駒沢庁舎紹介 |
| 8. | 暮らしの手帖 | 桐タンスの特性検査試験 |
| 9. 19 | 日刊工業新聞 | 産技研技術セミナー紹介 |
| 9. 28 | 毎日新聞 | 炭素繊維くずに生ごみ処理の働き |
| 10. 1 | 環境経済新聞 | 炭素繊維くずに生ごみ処理の働き |
| 10. 21 | 読売新聞 | 三宅火山灰の染色印刷 |
| 10. 29 | 日経産業新聞 | 潤滑油を使わずプレス加工 |
| 10. 31 | しま NO. 187 | 三宅ガラス |
| 11. 5 | 近代縫製新聞 | 縫製技術マニュアルシステム開発 |
| 12. 29 | 日本経済新聞 | 中小企業のホームページ作成支援 |
| 12. | コロンプス2号 | 火山灰を利用した製品紹介 |
| 12. | ゴルフダイジェスト2月号 | インナーウェアの保温性 |
| H14. 1. 1 | 東京クリーニング界 | 変革期を迎えたクリーニング業 |
| 1. 5 | 東京新聞 | 火山灰の製品化行き詰まる |
| 1. 11 | 日本農業新聞 | 放射線照射食品を判別 |
| 1. 15 | 医理産業新聞 | 電氣的安全と品質セミナー |
| 1. 23 | 日刊工業新聞 | 共同開発研究募集 |
| 1. 24 | 食品産業新聞 | 香辛料への放射線照射 |
| 1. 25 | 日刊工業新聞 | クエン酸の有効性発見 |
| 1. 31 | パンドラ(季刊誌) | 試験検査の現場紹介 |
| 2. 1 | 水の文化情報誌 | 三宅島火山灰を資源に |
| 2. 6 | 化学工業日報 | 資源環境技術で研究会 |
| 2. 13 | 日刊工業新聞 | マイクロ放電加工法開発 |
| 2. 20 | 日刊工業新聞 | 衣料デザイン法開発 |
| 2. 27 | 日刊工業新聞 | 三次元小型アンテナ開発 |
| 3. 19 | 都政新報 | 火山灰利用技術の実用化にメド |
| 3. 29 | 日刊工業新聞 | 脱潤滑油へ研究会 |
| 3. 29 | 日刊工業新聞 | 産学官連携 |

9. 試験研究機関等共同利用電子計算システム

9.1 概要

本システムは、産業労働局をはじめ、都の試験研究機関等と科学技術計算・データ処理等に共同利用するとともに、研究・指導・試験・審査業務の高度化に対処する。同時に、産業技術研究所の4庁舎間の情報の共有化を図る。なお、平成12年7月に電算システムの入替えを行い、新システムでの稼働を開始した。新システムは、容量や通信速度及び信頼性等これまでの問題点を解消し、かつ、組織統合に対応したネットワークシステムを構築した。

9.2 保守管理・運営業務

ハ・ドウェア

| | |
|--------|---|
| 本体システム | ファイアーウォール2台、 WAN側サーバ4台、 LAN内サーバ12台 ワークステーション5台、 遠隔庁舎サーバ3台 ネットワーク端末(AT互換)164台、ネットワーク端末(MAC互換)6台、 プリンタ27台、 その他 ルータ/ネットワークスイッチ/ハブ/電源等 |
|--------|---|

ソフトウェア

- ・コンカレントエンジニアリング環境の整備（ANSYS、分子構造解析ソフト、空間音響設計ソフト等）
- ・人事異動に伴うユーザ環境の整備（UNIX、WindowsNT、グループウェア）
- ・グループウェア利用環境の整備（管理職予定表等機能の修正、会議室・教室予約表の運用開始）
- ・外部公開用ホームページの運用（技術分野紹介、研修講習会案内、一般公開、研究発表会、研究関連ページ等の追加と充実）
- ・内部向けホームページの運用（システムメンテナンス情報・内規集一覧等の掲載、ユーザ情報・IPアドレス情報・情報カード情報検索、H11年度電子計算機運転利用状況報告書の掲載、危険物薬品管理システムや文書管理台帳等の運用）
- ・食品技術センター、城東地域中小企業振興センター、城南地域中小企業振興センター、商工指導所のホームページの当所ホームページ下の運用
- ・関東近県「バーチャル公設試」ホームページの運用支援
- ・データバックアップとアプリケーションプログラム環境の整備等

ネットワーク

- ・所内LAN環境の整備とIPアドレスの配布〔パソコン220台、プリンタ27台、教室パソコン30台〕
- ・ネットワークの安全性・信頼性の向上（DMZ設定、一部システム2重化）
- ・サイネットへの専用線による1.5Mbps接続
- ・西が丘庁舎と駒沢/墨田/八王子庁舎間の専用線128kbps接続（デジタルアクセス）
- ・駒沢・墨田・八王子各庁舎へのサーバ機能の分散（DNS、proxy、mail、web、news、FS、LAN監視等）
- ・インターネットサービスの提供及び環境整備（FTP、telnet、E-mail、WWW、News）
FTP（9,799件）、Telnet（182件）、E-mail（764,100件）、WWW（34,769,211件）
- ・外部利用機関からのINS1500によるデジタルリモートアクセス環境の整備（23事業所から年間53,977回接続）
- ・ウイルス対策（ウイルスパターンの常時更新）
- ・都庁LAN接続への対応

ファイアーウォール導入、駒沢・八王子庁舎内LANの高速回線化（100Mbps対応）
 人事異動等に伴う利用者登録とユーザ管理
 （平成14年3月31日時点の検閲名・課題登録者数を以下に示す）

| 所 属 | 人 数（人） |
|----------------|--------|
| 労働経済局（本庁） | 43 |
| 産業技術研究所 | 327 |
| 皮革技術センター | 17 |
| 食品技術センター | 19 |
| 城東地域中小企業振興センター | 15 |
| 城南地域中小企業振興センター | 20 |
| 農業試験場 | 15 |
| 林業試験場 | 9 |
| 水産試験場 | 7 |
| 小笠原亜熱帯農業センター | 7 |
| 中央農業改良普及センター | 11 |
| 総務局小笠原支庁 | 1 |
| 環境料学研究所 | 25 |
| 土木技術研究所 | 24 |
| 総務局八丈支庁 | 4 |
| 合 計 | 544 |

9.3 技術相談業務

（中小企業、本庁、共同利用試験研究機関、所内各部門の技術支援）

OS（Windows2000、Windows98、Windows95、WindowsNT、Macintosh、UNIX）及び、アプリケーションソフトの利用方法と、ネットワーク環境の構築等
 利用者技術相談（課題登録数 544件）
 城南振興及び城東振興センターのホームページ運用と内容の更新支援

9.4 講習会の開催

中小企業インターネット技術研修

- 「東京象牙美術工芸組合」：4回延60名
- 「異業種交流会H9パワーズ」：3回延48名
- 「板橋共同受注グループ イタテック」：1回14名
- 「東日本ベッ甲事業協同組合」：1回7名

中小企業等コンピュータ技術研修（開催日数、参加者数）

- ・WebCGIを活用した社内におけるパソコン情報処理（4日、1回、21名）
- 外部研修支援

各実施講習会及び研究会への電子計算機利用環境（パソコン教室等）の提供・支援

9.5 平成12年度電子計算機運転利用状況報告書の作成

150部作成し、関係機関および各部署単位に配布した。また利用者がいつでも閲覧できるように内部向けのホームページに報告書全文を掲載した。

10 . 大学等派遣研修

中小企業への技術支援には、職員の技術力の維持・向上が不可欠であり、所では研修生として大学及び国立試験研究機関等に職員を派遣した。

| 研 修 名 | 研 修 先 | 研修期間 | 人 数 |
|--------------|---------|------|-----|
| 大学院博士課程社会人入学 | 東京工業大学 | 3年 | 2名 |
| | 東京農工大学 | 3年 | 1名 |
| 大学受託研究員研修 | 東京工業大学 | 6カ月 | 1名 |
| | 東京農工大学 | 6カ月 | 1名 |
| | 千葉大学 | 6カ月 | 1名 |
| | 横浜国立大学 | 6カ月 | 1名 |
| 中小企業大学校研修 | | | |
| 技術支援・基本 | 中小企業大学校 | 1カ月 | 3名 |
| 技術支援・実践 | 中小企業大学校 | 1カ月 | 1名 |
| 情報技術 | 中小企業大学校 | 1カ月 | 1名 |
| 新材料・プロセス材料 | 中小企業大学校 | 1カ月 | 2名 |
| 研究開発マネジメント | 中小企業大学校 | 1週間 | 1名 |
| 知的所有権の活用・管理 | 中小企業大学校 | 1週間 | 1名 |
| 品質工学の活用 | 中小企業大学校 | 1週間 | 3名 |
| 支援機関トップセミナー | 中小企業大学校 | 3日 | 1名 |

11. 会議

11.1 技術会議

学識経験者および産業界の有識者等から所の事業に対する助言、提言を受け、技術の進歩、社会、産業界のニーズに応じた適切かつ効果的な事業計画の作成およびその執行を図るため技術会議を下記の通り開催した。

開催日

平成14年3月6日(水)

検討内容

- 1) 平成14年度事業計画について
- 2) 「産業技術研究所に期待する役割」について

委員(五十音順)

| | |
|-------|---|
| 遠藤 貞夫 | (社)東京工業団体連合会 専務理事 |
| 太田 公廣 | (独)産業技術総合研究所 産学官連携コーディネータ つくば中央第二事業所 管理監 |
| 岡部 義裕 | 東京商工会議所 中小企業・支部担当部 部長 |
| 勝村 庸介 | 東京大学大学院 工学系研究科附属原子力工学研究施設 教授 |
| 加藤 政雄 | 東京理科大学 基礎工学部 材料工学科 教授 |
| 河西 輝久 | 東京医科器械商業組合 副理事長 |
| 鞠谷 雄士 | 東京工業大学大学院 理工学研究科 有機・高分子物質専攻 教授 |
| 鈴木 一郎 | 関東照明器具協同組合 理事長 |
| 鈴木 浩平 | 東京都立大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 教授 |
| 藤邨 克之 | 東京都異業種交流プラザ H12合同交流会実行委員長 |

11.2 施設連絡協議会

駒沢庁舎(放射線利用施設)では、地元住民との連絡を密にし、施設の事業運営に対する理解と協力を求めるため施設連絡協議会を設置している。本年度は2回開催し、アイソトープ・放射線に対する安全確保について協議した。

第1回施設連絡協議会 平成13年4月9日(金)

第2回施設連絡協議会 平成13年11月15日(木)

委員の構成は以下のとおりである。

| | |
|----------|--|
| 世田谷区議会議員 | 菅沼 つとむ、高橋 忍、村田 義則 |
| 地元代表 | 秋山 光男、植竹 房子、三田 松廣、三田 達三 三田 隆眞、新倉 重行、安田 秀雄 |
| 東京都職員 | 大原 正行(産業労働局商工部長) 村田 裕滋(産業技術研究所長) |

11.3 外部評価委員会

研究事業を産業界や社会のニーズに対応させ、より効果的・効率的に推進するため外部評価委員会を下記の通り開催した。

なお、外部評価委員は学識経験者および産業界有識者等の専門委員と公募による都民委員の方々をお願いした。

開催日

平成13年7月18日(水)

評価対象研究課題

(第一部会:電気 電子 情報 関連分野)

1. ネットワーク対応型省エネ監視装置の開発
2. マイクロ波帯域を利用した産業用機器に対する遠隔制御装置の開発

3. XML を利用した企業組合の商品統合データベースの構築
4. 携帯用 EMC 検査装置の開発
(第二部会：繊維 高分子成形加工 関連分野)
5. 成形インナー製品の高度化
6. 導電性繊維の被服への応用
7. 金属繊維を活用した立体構造織物の開発
8. 簡易避難服の開発
9. ゲート着磁方法によるプラスチック金型内高速樹脂流動の可視化技術の確立
(第三部会：化学 排水処理 関連分野)
10. 低融点ガラスの無鉛化技術の確立
11. 非晶質プラスチックのストレスクラック発生時間の予測方法の確立
12. 排水中の窒素成分の処理技術の確立
13. 工場排水中のふっ素除去方法の開発
14. 光電測光式発光分光分析法を利用したマグネシウム合金分析法の開発
(第四部会：計測技術 試験技術 機械 関連分野)
15. 信頼性・安定性に優れたプラスチック吸収型ラドン測定装置の試作
16. タッピングねじ用電動式トルクドライバの改良と締付け試験機の開発
17. 紫外放射測定技術の開発
18. ユニバーサル開閉機構の開発
19. 粉じんの取り扱いが安全・容易なじんあい試験機の開発

外部評価委員（五十音順）

（第一部会）

- | | | |
|-------|------|--------------------------|
| 岩崎 一彦 | 専門委員 | 東京都立大学工学部電子・情報工学科教授 |
| 太田 公廣 | 専門委員 | 産業技術総合研究所研究コーディネータ（兼）管理監 |
| 柘植 茂二 | 都民委員 | |

（第二部会）

- | | | |
|--------|------|-------------------|
| 遠藤 貞夫 | 専門委員 | （社）東京工業団体連合会 専務理事 |
| 狩野 拓夫 | 都民委員 | |
| 鞠谷 雄士 | 専門委員 | 東京工業大学大学院理工学研究科教授 |
| 横塚 尹左夫 | 都民委員 | |

（第三部会）

- | | | |
|-------|------|--------------------|
| 浅田 泰男 | 都民委員 | |
| 加藤 政雄 | 専門委員 | 東京理科大学基礎工学部材料工学科教授 |
| 倉林 肇 | 都民委員 | |

（第四部会）

- | | | |
|-------|------|-----------------|
| 岡本 雅夫 | 都民委員 | |
| 勝村 庸介 | 専門委員 | 東京大学大学院工学系研究科教授 |
| 田中 寛 | 都民委員 | |

評価方法

全研究課題を4部会に分け、各部会ごとに研究課題（平成14年度研究テーマ）の評価をいただいた。

部会においては研究課題の概要について研究担当者が説明し、質疑応答の後、公共性、緊急性、技術性、実現性、実用性、経済性についての項目別評価および総合評価をいただいた。

なお、評価結果は各研究課題ごとに項目別評価、総合評価をまとめ、(1)計画通り実施可 (2)実施可（一部計画の修正を求める意見のあったもの） (3)実施不可とした。

評価結果

全19課題のうち、15課題が(1)計画通り実施可に、4課題が(2)実施可(一部計画の修正を求める意見のあったもの)になった。この結果を受け、「類似した技術や共通点があるので連携をとって研究することが望ましい」との指摘のあった二つのテーマを合併させるなどの修正を行い、18テーマを平成14年度に実施することとなった。

なお、外部評価委員会の結果をまとめたものを、ホームページ上で公開している。

11.4 産業技術連携推進会議

産業技術連携推進会議は、全国の公設試験研究機関及び国が相互に連携し、効率的な事業運営を図るため、機関相互の情報交換や連絡調整、国への要望等の議題で開催されている。産業技術連携推進会議の組織には、技術分野別の部会、分科会、研究会があり、技術情報の交換、共同研究、現地研修、研究発表等の活動が行われている。

(1) 東京都(産業技術研究所)主催または共催で行われた産業技術連携推進会議は、次のとおりである。

| 番号 | 開催年月日 | 会議名 | 出席機関数 出席者数 | 担当課・室・グループ |
|----|-----------------|---------------------------|---------------|------------|
| 1 | H13.7.26 ~27 | 繊維部会 デザイン分科会 研究連絡会議 | 20機関 30名 | アパレル技術グループ |
| 2 | H13.11.8 ~9 | 物質工学部会 第10回画像プロセス分科会 | 8機関 10名 | 製品科学技術グループ |

(2) 産業技術連携推進会議の総会及び地方部会等への出席は、次のとおりである。

| 番号 | 会議名 | 開催年月日 | 場所 |
|----|-----------------------------|------------------------|------|
| 1 | 繊維部会 関東・東北地方部会 | 平成13年 5月10日 ~11日 | 神奈川 |
| 2 | 知的基盤部会 設立総会 | 平成13年 5月17日 | 茨城県 |
| 3 | 窯業部会 総会 | 平成13年 5月24日 ~25日 | 熊本県 |
| 4 | 繊維部会 総会 | 平成13年 5月31日 ~ 6月 1日 | 和歌山県 |
| 5 | 情報・電子部会 総会 | 平成13年 5月31日 ~ 6月 1日 | 三重県 |
| 6 | 機械・金属部会 総会 | 平成13年 6月21日 | 茨城県 |
| 7 | 関東甲信越静地域産業技術連携推進会議 運営委員会 | 平成13年 7月27日 | 埼玉県 |
| 8 | 繊維部会 幹事会及び研究成果発表会 | 平成13年10月19日 ~20日 | 兵庫県 |
| 9 | 関東甲信越静地域産業技術連携推進会議 | 平成13年10月26日 | 千葉県 |
| 10 | 資源・エネルギー・環境部会 総会 | 平成13年10月29日 | 茨城県 |
| 11 | 物質工学部会 総会及び研究発表会 | 平成13年10月29日 ~30日 | 茨城県 |
| 12 | 情報・電子部会 関東甲信越静地域部会 | 平成13年10月30日 | 群馬県 |
| 13 | 窯業部会 秋季関東・東北・北海道地方合同部会 | 平成13年11月 1日 ~ 2日 | 静岡県 |
| 14 | 機械・金属部会 関東甲信越静地域別研究会 | 平成14年 2月13日 | 山梨県 |
| 15 | 産業技術連携推進会議 総会 | 平成14年 3月25日 | 東京都 |

12. 対外的技術協力

12.1 対外的技術協力

大学の非常勤講師として、下記のとおり研究員を派遣した。

| 非常勤講師名 | 大学名 |
|--------|------|
| 北原 明治 | 山梨大学 |
| 細淵 和成 | 東京大学 |
| 伊瀬 洋昭 | 福島大学 |

12.2 研修生受け入れ

大学又は短期大学等から派遣された学生を一定期間受け入れ、当所の実務を通じ専門技術を習得させるとともに当所の技術の普及を図るものである。

平成13年度研修生受け入れ状況

| 受入相手先 | 受入 学生数 | 指導技術 グループ名 | 指導担当者 | 受入期間 |
|-----------------------|-----------|---------------|--------------|--------------------|
| 芝浦工業大学 工学部材料工学科 | 1名 | 表面 | 田中 | H13/4/24～H14/3/31 |
| 東京農工大学 大学院環境資源物質科学専攻 | 1名 | 資源環境 | 瓦田 | H13/5/ 1～H14/3/31 |
| 東京農工大学 農学部環境資源科学科 | 1名 | 資源環境 | 瓦田 | H13/5/ 1～H14/3/31 |
| 芝浦工業大学 工学部材料工学科 | 5名 | 表面技術 | 仁平、浅見、 三尾 | H13/5/ 7～H14/2/28 |
| 芝浦工業大学 工学部機械工学第二学科 | 2名 | 精密加工 | 片岡 | H13/6/ 1～H14/2/28 |
| 東京農工大学 工学研究科 電子情報学科 | 1名 | 電気応用 | 殿谷 | H13/6/18～H13/12/20 |
| 東京農工大学 工学部電気電子工学科 | 1名 | 電気応用 | 殿谷 | H13/6/18～H13/12/20 |
| 日本大学 大学院理工学研究科情報科学専攻 | 1名 | 情報システム | 坂巻 | H13/7/ 1～H14/3/31 |
| 帝京大学 理工学部材料科学工学科 | 1名 | 電子 | 上野 | H13/7/ 2～H14/2/28 |
| 日本大学 生産工学部工業化学科 | 2名 | 材料 | 清水 | H13/7/30～H13/8/14 |
| 東洋大学 工学部機械工学科 | 2名 | 製品科学 | 大久保 | H13/8/ 6～H13/8/31 |
| 玉川大学 工学部機械工学科 | 3名 | 精密加工 | 山崎 | H13/7/31～H13/9/5 |
| 東京工業大学 大学院人間環境システム専攻 | 1名 | 計測応用 | 神田 | H13/8/ 6～H14/3/31 |
| 東京農工大学 大学院環境資源物質科学専攻 | 1名 | 資源環境 | 飯田 | H13/8/24～H14/3/31 |
| 東京芸術大学 美術学部美術研究科 | 1名 | 材料 | 小山 | H13/10/3～H14/3/31 |
| 東京農工大学 農学部環境資源科学科 | 1名 | 資源環境 | 東 | H13/11/1～H14/3/31 |
| 芝浦工業大学 工学部工業化学科 | 2名 | 材料 | 小山 | H14/2/ 4～H14/3/31 |
| 東京家政学院大学 家政学科家政学専攻 | 2名 | アパレル | 中島 | H13/8/27～H13/8/31 |
| 大妻女子大学 被服学科 | 2名 | アパレル | 中島 | H13/8/27～H13/8/31 |
| 実践女子大学 生活環境学科 | 2名 | アパレル | 中島 | H13/8/27～H13/8/31 |
| 昭和女子大学 生活科学部生活環境学科 | 2名 | アパレル | 中島 | H13/8/27～H13/8/31 |
| 共立女子大学 被服学科 | 2名 | アパレル | 中島 | H13/8/27～H13/8/31 |
| 東京家政大学 服飾美術学科服飾専攻 | 2名 | アパレル | 中島 | H13/8/27～H13/8/31 |
| 文化女子大学 服飾学科・被服科学コース専攻 | 2名 | アパレル | 中島 | H13/8/27～H13/8/31 |

12.3 講師派遣（工技連）、委員派遣（JIS等）

1) 講師派遣

産業技術連携推進会議

| 番号 | 会議名 | 発表テーマ | 担当課・室・グループ | 発表者 |
|----|-----------------------------|---|--------------|-------|
| 1 | 機械・金属部会機械分科会 材料研究会 | ボルト締付け軸力安定化剤の開発 | 企画普及課 | 石田 直洋 |
| 2 | 繊維部会 繊維試験法分科会 | キセノンアーク灯光に対する染色堅牢度試験 | 八王子分室 | 吉田 弥生 |
| 3 | 繊維部会 関東・東北地方部会 繊維測定技術研究会 | 都立産業技術研究所におけるクレーム処理の現状、及び測定法の問題点とその改善方法について | 八王子分室 | 池田 善光 |
| 4 | 情報・電子部会 信頼性・評価 技術研究分科会 | 環境対策と信頼性技術 | 電子技術グループ | 三上 和正 |
| 5 | 情報・電子部会 電磁環境分科会 EMC研究会 | 電磁環境トラブル事例 | 電子技術グループ | 寺井 幸雄 |
| 6 | 繊維部会 デザイン分科会 研究連絡会議 | 高感度製品開発技術のマニュアル化 | アパレル技術グループ | 平山 明浩 |
| 7 | 繊維部会 縫製技術分科会 | 高感度製品開発技術のマニュアル化 | アパレル技術グループ | 平山 明浩 |
| 8 | 繊維部会 デザイン分科会 デザイン情報研究会 | 衣料への錯視表現技法の応用 | アパレル技術グループ | 秋田 実 |
| 9 | 繊維部会 関東・東北地方部会 生産技術研究会 | リサイクル素材ブルゾンのデザイン開発と試作 | アパレル技術グループ | 秋山 正 |
| 10 | 繊維部会 素材・製布分科会 | 電磁波シールドニット生地 | ニット技術グループ | 吉野 学 |
| 11 | 繊維部会 デザイン分科会 研究連絡会議 | 地場産地ブランドの製品企画 | テキスタイル技術グループ | 川崎 顕 |

その他

| 番号 | 発表会等名称 | 発表テーマ | 担当課・室・グループ | 発表者 |
|----|--------------|--------------|------------|-------|
| 1 | 広域関東圏研究成果発表会 | 三次元小型アンテナの開発 | 電子技術グループ | 山田万寿雄 |

2) 委員派遣（JIS等）

| | 兼業先 | 兼業先役職名 | 担当課・室・グループ | 従事職員 |
|----|-----------------------|-----------------------------------|--------------|-------|
| 1 | 社団法人 繊維評価技術協議会 | JIS原案作成委員会委員 | 八王子分室 | 上野 和義 |
| 2 | 財団法人 日本規格協会 | JSA規格調整委員会委員 | 八王子分室 | 上野 和義 |
| 3 | 社団法人 電子情報技術産業協会 | JIS原案作成委員会委員 | 電子技術グループ | 吉田 裕道 |
| 4 | 財団法人 日本電子部品信頼性センター | JIS原案作成本委員会 / TC104国内委員会委員 | 電子技術グループ | 吉田 裕道 |
| 5 | 財団法人 日本電子部品信頼性センター | JIS原案作成B（耐候性試験）委員会、TC104/WGB委員会 | 電子技術グループ | 三上 和正 |
| 6 | 社団法人 日本環境測定分析協会 | 「排ガス中のアンモニア分析方法」の改正原案作成委員 | 精密分析技術グループ | 野々村 誠 |
| 7 | 社団法人 日本分析化学会 | JISK0303排ガス中のホルムアルデヒド分析方法改正原案作成委員 | 精密分析技術グループ | 野々村 誠 |
| 8 | 社団法人 日本工作機械工業会 | 電気装置JIS原案作成委員会委員 | 電気応用技術グループ | 栗原 秀樹 |
| 9 | 社団法人 日本電子部品信頼性センター | JIS原案作成（静電気対策）本・作業委員会委員 | 電気応用技術グループ | 殿谷 保雄 |
| 10 | 財団法人 日本規格協会 | JIS原案作成委員会委員 | 情報システム技術グループ | 榎本 博司 |
| 11 | 財団法人 バイオインダストリー協会 | JIS原案作成委員会委員 | 放射線応用技術グループ | 細渕 和成 |
| 12 | 社団法人 日本冷凍空調工業会 | 全熱交換器工業標準原案作成委員会委員 | 製品科学技術グループ | 大久保富彦 |
| 13 | 社団法人 日本包装技術協会 | JIS原案作成委員会委員 | 製品科学技術グループ | 三好 泉 |

13 . 職員表彰

13.1 学会等における職員の受賞

学会等において受賞したものである。

平成13年度受賞実績

| | |
|-----|-------------------|
| 受賞名 | 日本材料試験技術協会賞 |
| 件名 | 工具としてのセラミックスの材料特性 |
| 受賞者 | 佐々木武三（精密加工技術グループ） |
| | 加藤 光吉（計測応用技術グループ） |
| | 片岡 征二（精密加工技術グループ） |
| | 基 昭夫（精密加工技術グループ） |

| | |
|-----|------------------|
| 受賞名 | 繊維機械学会賞 技術賞 |
| 件名 | 編地分析・設計支援システムの開発 |
| 受賞者 | 近藤 幹也（企画普及課） |

| | |
|-----|-------------------------------------|
| 受賞名 | 電気科学技術奨励賞（オーム技術賞） |
| 件名 | マイコン組込制御システムの高信頼化に関する研究及び中小企業への技術移転 |
| 受賞者 | 坂巻佳壽美（情報システム技術グループ） |

| | |
|-----|--|
| 受賞名 | 技術開発賞（（社）日本金属学会） |
| 件名 | 高効率廃棄物発電プラント環境における高耐食性ボイラ用ステンレス鋼Q S X 5の開発 |
| 受賞者 | 基 昭夫（精密加工技術グループ） |

13.2 職員表彰

東京都職員表彰規則に基づき表彰を受けたものである。

平成13年度受賞実績

| | |
|-------|-------------------|
| 部門 | 研究、発明・発見 |
| 件名 | 三宅島火山灰の利用技術の開発 |
| グループ名 | 三宅島火山灰の利用技術の開発チーム |
| 構成員 | 鈴木 蕃（材料技術グループ） |
| | 小山 秀美（材料技術グループ） |
| | 田中 実（材料技術グループ） |
| | 陸井 史子（材料技術グループ） |
| | 大久保一宏（材料技術グループ） |

| | |
|-------|-----------------------|
| 部門 | 研究、発明・発見 |
| 件名 | 装着式自動収尿器の開発と事業化 |
| グループ名 | 福祉機器開発支援グループ |
| 構成員 | 木崎 勝（城南地域中小企業振興センター） |
| | 河村 洋（電気応用技術グループ） |
| | 岡野 宏（電気応用技術グループ） |
| | 三好 泉（製品科学技術グループ） |
| | 清水 秀紀（城南地域中小企業振興センター） |

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 部門 | 研究、発明・発見 |
| 件名 | コンピュータ組込機器の高信頼化技術に関する研究開発及び中小企業への技術移転 |
| グループ名 | 制御システム研究室 |
| 構成員 | 坂巻佳壽美（情報システム技術グループ） |
| | 森 久直（情報システム技術グループ） |

資料

1 沿革

- 大正10年10月 東京府立東京商工奨励館（東京都立工業奨励館の前身）設立
- 大正13年 8月 東京市電気研究所（東京都電気研究所の前身）設立
- 昭和 2年 3月 東京府立染織試験場（東京都立繊維工業試験場の前身）設立
- 昭和34年 7月 東京都立アイソトープ総合研究所設立
- 昭和45年12月 東京都立工業奨励館と東京都電気研究所を統合し、東京都立工業技術センター設立
- 平成 9年 4月 東京都立工業技術センターと東京都立アイソトープ総合研究所を統合し、東京都立産業技術研究所として発足
- 平成12年 4月 東京都立繊維工業試験場と統合し、東京都立産業技術研究所となる。

なお、東京都立工業技術センター、東京都立アイソトープ総合研究所及び東京都立繊維工業試験場の設立及び設立後の経過は、次のとおりである。

<工業技術センター>

- 昭和33年度 工業技術センターの建設を目指し、調査・検討を開始
- 昭和39年度 営繕本部で基本設計を行う
- 昭和41年度 建設工事に着工
- 昭和42年度 第1期工事の完成
電気研究所の移転
- 昭和44年度 工業奨励館化学部の移転
- 昭和45年度 工事完成
工業奨励館庶務課、指導部、機械部、材料部、工芸部の移転
技術管理課の設置
東京都立工業技術センターとして発足

<アイソトープ総合研究所>

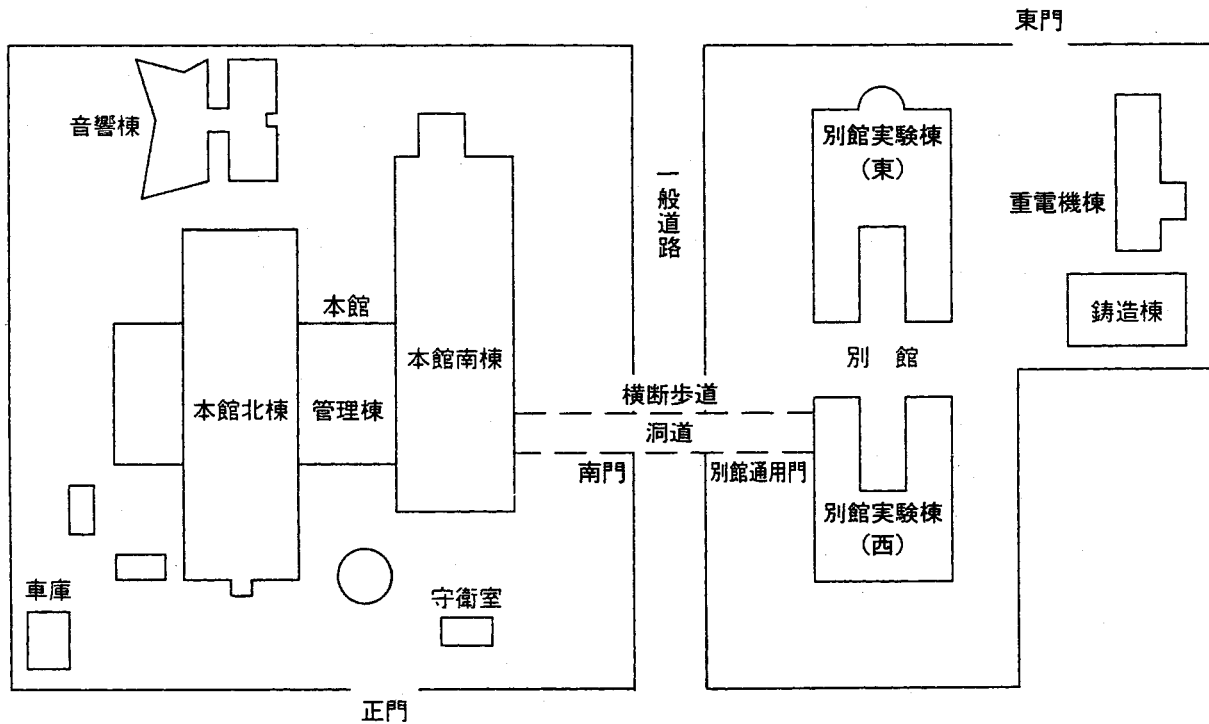
- 昭和31年度 東京都原子力平和利用対策協議会設置
- 昭和32年度 日本原子力産業会議に研究所基本設計を委託
- 昭和33年度 建設工事に着工
3号館完成
- 昭和34年度 東京都立アイソトープ総合研究所として発足
2号館完成
- 昭和35年度 1号館完成
- 平成 3年度 4号館完成

<繊維工業試験場>

- 昭和 元年度 東京府立染織試験場設立
- 昭和 9年度 青梅地区に出張所開設（青梅分場）
- 昭和11年度 村山地区に出張所開設（村山分場）
- 昭和19年度 東京都立繊維工業試験場と改称
- 昭和26年度 墨田区に江東分場開設
- 平成 2年度 江東分場秋葉原分室開設
- 平成 3年度 本場に青梅・村山分場を統合
青梅・村山伝産室開設

2 施設

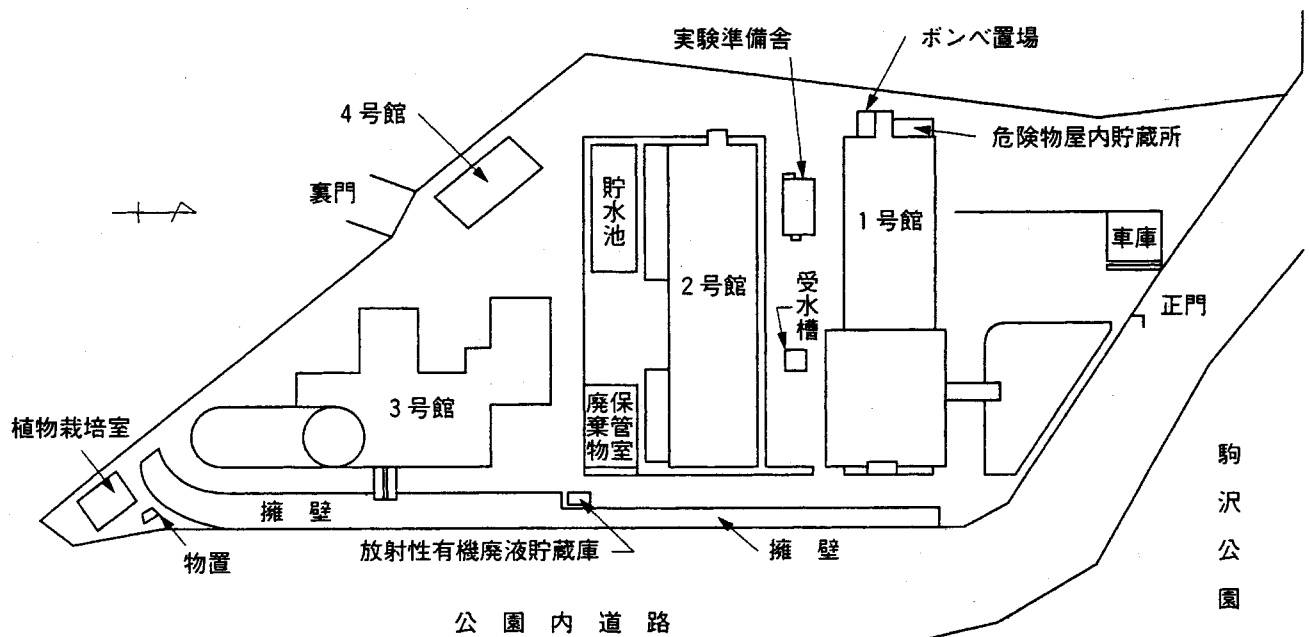
- 1) 西が丘庁舎 所在地 東京都北区西が丘三丁目13番10号
敷地面積 33,470㎡
延床面積 26,662㎡



西が丘庁舎建物内訳

| 名称 | 建築物 | | 内容 |
|-------|--------------------------|-----------|---------------------------|
| | 構造 | 面積 | |
| 本館管理棟 | 鉄筋コンクリート 地下1階、地上2階建 | 4,926.8㎡ | 事務室、電算機室、中央監視室、講堂、会議室、図書室 |
| 本館南棟 | 鉄骨鉄筋コンクリート 地下1階、地上7階建 | 9,595.5㎡ | 各研究グループ実験室 |
| 本館北棟 | 鉄筋コンクリート 地下1階、地上4階建 | 5,474.5㎡ | 各研究グループ実験室、教室 |
| 別館実験棟 | 鉄骨 平屋建 | 4,615.3㎡ | 各研究グループ実験室 |
| 音響棟 | 鉄筋コンクリート 平屋建(一部2階建) | 599.2㎡ | 無響室、残響室 |
| 重電機棟 | 鉄骨 平屋建 | 601.1㎡ | 高電圧実験室、重電機実験室 |
| 鑄造棟 | 鉄筋コンクリート 2階建 | 650.6㎡ | 鑄造実験室 |
| その他 | | 198.9㎡ | 守衛室、ボンベ室、危険物倉庫、車庫 |
| 合計 | | 26,661.9㎡ | |

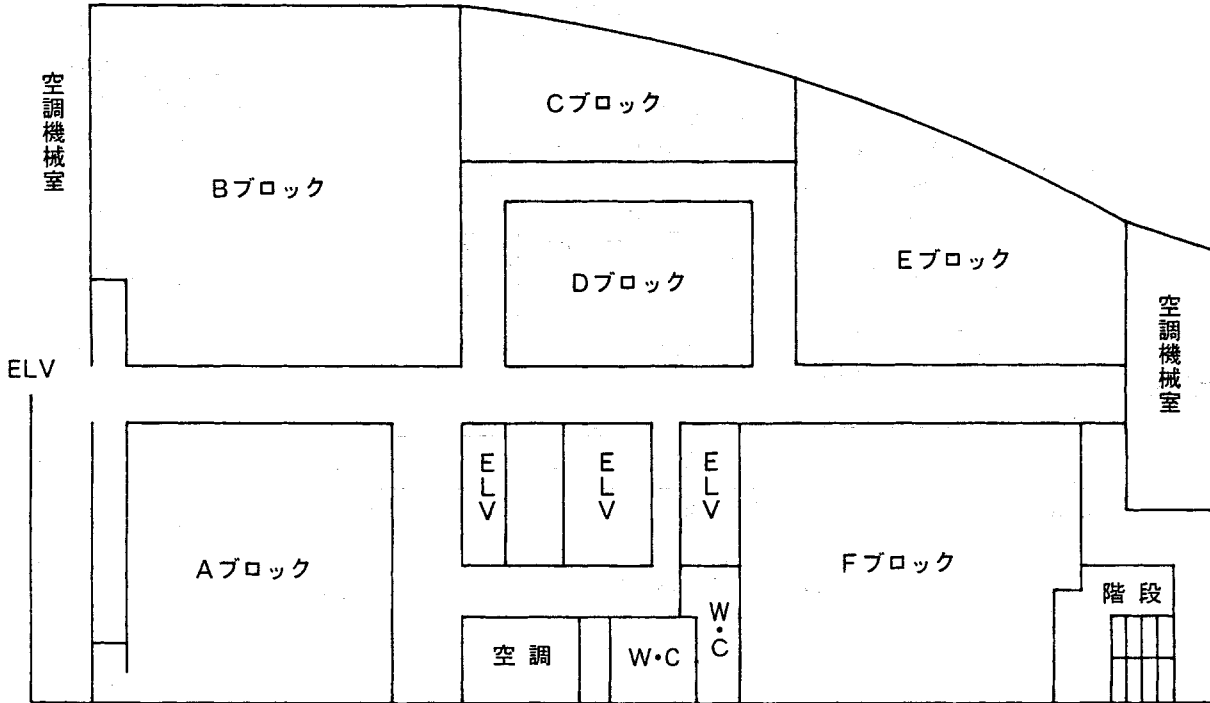
2) 駒沢庁舎 所在地 東京都世田谷区深沢二丁目11番1号
敷地面積 9,095㎡
延床面積 4,393㎡



駒沢庁舎建物内訳

| 名称 | 建物 | | 内容 |
|-----|------------------------|----------|-------------------------------------|
| | 構造 | 面積 | |
| 1号館 | 鉄筋コンクリート 地下1階、地上3階建 | 1,997.9㎡ | 事務室、施設管理室、情報提供システム室、講堂、図書室、各グループ実験室 |
| 2号館 | 鉄筋コンクリート 地下1階、地上1階建 | 968.0㎡ | アイソトープ実験室、廃棄物保管室 |
| 3号館 | 鉄筋コンクリート 地下1階、地上1階建 | 1,023.5㎡ | 各種放射線照射室、非破壊検査室、放射線管理室 |
| 4号館 | 鉄骨軽量コンクリート 2階建 | 199.4㎡ | 測定室、試料調製室、相談室 |
| その他 | | 203.8㎡ | 植物栽培室、実験準備舎、放射線有機廃液貯蔵庫、車庫、物置 |
| 合計 | | 4,392.6㎡ | |

3) 墨田庁舎 所在地 東京都墨田区横網一丁目6番1号
 国際ファッションセンター12階 (25階建)
 敷地面積 5,894㎡
 専用面積 1,920㎡



墨田庁舎建物内訳 (国際ファッションセンター12階)

| 名称 | 建物 | | 内容 |
|-------|----|----------|-------------------------------|
| | 構造 | 面積 | |
| Aブロック | 鉄骨 | 296.5㎡ | 事務室、会議室、技術相談室、実習室 |
| Bブロック | 鉄骨 | 417.6㎡ | 技術評価室、品質評価試験室、染色加工試験室、ニット試験工場 |
| Cブロック | 鉄骨 | 118.6㎡ | 機器分析試験室、物理性能試験室 |
| Dブロック | 鉄骨 | 123.0㎡ | 恒温恒湿室、抗菌試験室、デザイン製作室 |
| Eブロック | 鉄骨 | 218.3㎡ | ニット技術グループ、図書・素材情報室、被服科学試験室 |
| Fブロック | 鉄骨 | 310.5㎡ | アパレル技術グループ、縫製試験室 |
| 合計 | | 1,484.5㎡ | |

4)八王子庁舎 所在地 東京都八王子市明神町三丁目 19 番 1 号
敷地面積 10,079 m²
延床面積 5,224.6 m²



八王子庁舎建物内訳

| 名 称 | 建 物 | | 内 容 |
|-----|---------------------|------------------------|---|
| | 構 造 | 延 面 積 | |
| 管理棟 | 鉄筋コンクリート 地上 2 階建 | 662.8 m ² | 事務室、連絡調整室、工業技術相談室 会議室 |
| 研究棟 | 鉄筋コンクリート 地上 2 階建 | 4,404.8 m ² | 技術評価室、テキスタイル技術グループ 実験室、織物試験工場、浸染試験工場 |
| その他 | | 157.0 m ² | 渡り廊下、車庫、物置 |
| 合 計 | | 5,224.6 m ² | |

3 決 算

(単位：円)

| 区 分 | 歳 出 | | | | 歳 入 | | | | 差し引一般財源 | | | | | | |
|-------------------|---------------|---------------|------------|-------------|-------------|-----------|---------|------------|-------------|-------------|-----------|--------|------------|------------|-------------|
| | 予算現額 | 決算額 | 不用額 | 予算額計 | 使用料及手数料 | 国庫補助金 | 財産収入 | 歳収入 | | 決算額計 | 使用料及手数料 | 国庫補助金 | 財産収入 | 歳収入 | 不用額 |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 産業技術研究所 | 945,804,000 | 875,072,790 | 70,731,210 | 242,226,000 | 220,090,000 | 1,456,000 | 135,000 | 20,545,000 | 167,813,723 | 151,042,224 | 913,700 | 94,080 | 15,763,719 | 74,412,277 | 707,259,067 |
| 試験研究 | 97,900,000 | 92,171,766 | 5,728,234 | 219,000,000 | 200,000,000 | 0 | 0 | 19,000,000 | 145,669,388 | 132,429,309 | 0 | 0 | 13,240,079 | 73,330,612 | 53,497,622 |
| 依頼試験 | 38,955,000 | 36,806,204 | 2,148,796 | 200,000,000 | 200,000,000 | 0 | 0 | 0 | 132,429,309 | 132,429,309 | 0 | 0 | 0 | 67,570,691 | 95,623,105 |
| 経営研究 | 49,669,000 | 47,475,896 | 2,193,104 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 47,475,896 | 47,475,896 |
| 受託事業 | 9,276,000 | 7,889,666 | 1,386,334 | 19,000,000 | 0 | 0 | 0 | 19,000,000 | 13,240,079 | 0 | 0 | 0 | 13,240,079 | 5,759,921 | 5,350,413 |
| 指導 | 27,589,000 | 23,144,148 | 4,444,852 | 18,251,000 | 18,251,000 | 0 | 0 | 0 | 16,553,410 | 16,553,410 | 0 | 0 | 0 | 1,697,590 | 6,590,738 |
| 一般指導 | 27,589,000 | 23,144,148 | 4,444,852 | 18,251,000 | 18,251,000 | 0 | 0 | 0 | 16,553,410 | 16,553,410 | 0 | 0 | 0 | 1,697,590 | 6,590,738 |
| 電子計算機運営 | 79,236,000 | 75,875,557 | 3,360,443 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 75,875,557 |
| 放射線安全管理 | 58,780,000 | 57,836,095 | 943,905 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 57,836,095 |
| 維持管理 | 682,299,000 | 626,045,224 | 56,253,776 | 4,975,000 | 1,839,000 | 1,456,000 | 135,000 | 1,545,000 | 5,590,925 | 2,059,505 | 913,700 | 94,080 | 2,523,640 | 615,925 | 620,454,299 |
| 建物維持管理 | 549,067,000 | 528,168,762 | 20,898,238 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 806,651 | 0 | 0 | 0 | 806,651 | 806,651 | 527,362,111 |
| 管理運営 | 133,232,000 | 97,876,462 | 35,355,538 | 4,975,000 | 1,839,000 | 1,456,000 | 135,000 | 1,545,000 | 4,784,274 | 2,059,505 | 913,700 | 94,080 | 1,716,989 | 190,726 | 93,092,188 |
| 試験研究機関による技術開発研究 | 150,380,000 | 131,714,907 | 18,665,093 | 24,100,000 | 0 | 7,000,000 | 0 | 17,100,000 | 10,775,166 | 0 | 5,295,469 | 0 | 5,479,697 | 13,324,834 | 120,939,741 |
| 国庫補助事業 | 14,000,000 | 13,094,313 | 905,687 | 7,000,000 | 0 | 7,000,000 | 0 | 0 | 5,295,469 | 0 | 5,295,469 | 0 | 0 | 1,704,531 | 7,798,844 |
| 東京都庁事業 | 79,066,000 | 77,669,471 | 1,396,529 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 77,669,471 |
| 共同開発研究 | 32,314,000 | 28,877,469 | 3,436,531 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 28,877,469 |
| 産学公連携研究開発事業 | 15,000,000 | 3,003,105 | 11,996,895 | 15,000,000 | 0 | 0 | 0 | 15,000,000 | 3,003,000 | 0 | 0 | 0 | 3,003,000 | 11,997,000 | 105 |
| ものづくり開発支援センター運営事業 | 10,000,000 | 9,070,549 | 929,451 | 2,100,000 | 0 | 0 | 0 | 2,100,000 | 2,476,697 | 0 | 0 | 0 | 2,476,697 | 376,697 | 6,593,852 |
| 施設整備 | 127,327,000 | 116,878,627 | 10,448,373 | 10,000,000 | 0 | 0 | 0 | 10,000,000 | 9,975,000 | 0 | 0 | 0 | 9,975,000 | 25,000 | 106,903,627 |
| 総 合 計 | 1,223,511,000 | 1,123,666,324 | 99,844,676 | 276,326,000 | 220,090,000 | 8,456,000 | 135,000 | 47,645,000 | 188,563,889 | 151,042,224 | 6,209,169 | 94,080 | 31,218,416 | 87,762,111 | 935,102,435 |

4 施設整備

都内中小企業の技術の向上とその成果の普及を図る上で、事業実施のために必要となる施設の整備を行った。

1) 西が丘庁舎

- (1) 機械設備改修工事
個別空調設置工事、実験用排水管改修工事など 6件
- (2) 電気設備改修工事
照明器具改修工事、蓄電池設備改修工事など 6件
- (3) 建築・その他工事
南棟非常バルコニー等改修工事、喫煙室等改修工事など 5件

2) 駒沢庁舎

- (1) 機械設備改修工事
給排気設備調改修工事、空調用冷凍機分解整備など 5件
- (2) 電気設備改修工事
高圧線引込み線改修工事、照明器具交換工事など 6件
- (3) 建築・その他工事
1号館排水溝敷設工事 1件
- (4) 安全管理工事
2号館ドライエリア改修工事、第2実験準備室排気設備設置他工事など 7件

3) 八王子庁舎

- (1) 八王子庁舎照明器具改修工事
- (2) 研究棟熱源設備改修工事
- (3) 電気設備改修工事
恒温恒湿室スピーカー取付工事
換気扇交換工事
研究棟西側分電盤改修工事
光ケーブル敷設工事
- (3) 建築・その他工事
受水槽改修工事
研ぎ出し撤去
ブラインド工事

5 機器整備

13年度の主要な機器整備は次のとおりである。

| 番号 | 件名 | グループ名 | 担当者 |
|----|---------------------|--------------|-----|
| 1 | 低エネルギー X線発生装置 | 放射線応用技術グループ | 鈴木 |
| 2 | エチレンオキシド滅菌機 | 資源環境技術グループ | 瓦田 |
| 3 | 界面張力計 | テキスタイル技術グループ | 榎本 |
| 4 | 冷却水循環装置 | 表面技術グループ | 渡部 |
| 5 | プラズマモニター分光システム | 表面技術グループ | 渡部 |
| 6 | フタル酸エステル用測定用クリーンベンチ | 精密分析技術グループ | 野々村 |
| 7 | 真空乾燥機 | 材料技術グループ | 山本 |
| 8 | 混合攪拌機 | 材料技術グループ | 山本 |
| 9 | 液クロ・酸分析システム | 材料技術グループ | 山本 |
| 10 | 促進耐候試験機 | 製品技術グループ | 木下 |
| 11 | インターネットサーバー機 | 情報システム技術グループ | 土屋 |
| 12 | 画像処理装置 | アパレル技術グループ | 北原 |
| 13 | 紙用大判プリンタ | アパレル技術グループ | 北原 |
| 14 | 布用プリンタ | アパレル技術グループ | 北原 |
| 15 | 熱機械分析システム | 材料技術グループ | 小山 |
| 16 | 精密切断機 | 材料技術グループ | 小山 |
| 17 | 体圧分布測定装置 | 製品科学技術グループ | 三好 |
| 18 | モデリング装置 | 製品科学技術グループ | 三好 |
| 19 | アナログデータ処理システム | 製品科学技術グループ | 三好 |
| 20 | 超低音冷蔵庫 | ニット技術グループ | 中村 |
| 21 | ヘッドスペースサンプラー | 資源環境技術グループ | 宮崎 |
| 22 | 湿熱滅菌器 | 資源環境技術グループ | 宮崎 |
| 23 | 磨耗試験機 | 八王子分室 | 川原井 |
| 24 | オシロスコープ | 技術評価室 | 滝田 |
| 25 | ノイズ関連周辺機器 | 技術評価室 | 池田 |

6 職員名簿

所 長 村田 裕滋

管理部

部 長 鈴木 賢二
庶務課
課 長 中村 清志
課長補佐(庶務係長) 塩津 八久郎
主任(企画普及課兼務) 小川 みどり
主任 彌榮 邦子 主任 子金 健二
高橋 ひろみ 本多 雅史 村木 史子 菊田 三千男
経理係長 金子 寿美子
主任 内山 順一 主任 原嶋 利江
田村 恭子 喜屋武誠 栗田 健一 荒川 留美
施設課
課長 金井 崇浩
庁舎管理係長 有吉 克己
技能主任 新井田十三子
堀越 純子 藤見 佳子
課長補佐(電機係長) 土屋 隆之
主任 西村 靖男 主任 粕谷 澄男
主任 大場 秀夫
技能主任 田島 和夫 技能主任 飯箸 栄
内田 和孝 中沢 武男 山崎 忠夫 太田 和彦
安全管理課(駒沢庁舎)
課長(統括) 室山 丈夫
放射線安全・相談担当副参事 武藤 利雄
課長補佐(管理係長) 牧野 未男
主任 肥土 美佐子
乳井 賢治 倉本 恵美
施設係長 難波 亜由美
主任 岡山 三彦 主任 小金井康有
主任 榊原 太郎
技能主任 片山 厚彦
野口 一久
課長補佐(放射線安全係長) 猪越 幸雄
主任 杉浦 城春 主任 細田 永子
主任 竹谷 扶美子 主任 牧野 敦
河野 良雄 東 光一
放射線安全担当係長 渡辺 是彦

技術企画部

部 長 大島 敏
企画普及課
企画普及課長(統括) 宝月 大輔
課長補佐(企画調整係長) 碓井 正雄
企画調整担当係長 遠藤 洋平
企画調整担当係長 上部 隆男
企画調整担当係長 近藤 幹也
企画調整担当係長 中田 修
主任 石田 直洋
研究交流担当副参事 鈴木 節男
技術情報交流係長 児島 芳邦
主任 渡邊 耕士
松田 寛子
普及指導担当副参事 齊藤 いほえ
課長補佐(普及係長) 伊瀬 洋昭
課務担当係長 笹森 宣文
主任 長嶋 清之 主任 長井 克年
主任 鈴木 朗子
軍司 浩見 鈴木 浩
相談指導係長 安藤 敦子
主任 富田 一郎 主任 塚本 利夫
技術評価室
技術評価室長 今津 好昭
課長補佐(主任研究員) 田村 和男
主任研究員 石井 清一
主任研究員 池田 弘
主任研究員 村田 晴夫
主任研究員 舟山 義弘
主任研究員 高田 茂
主任研究員 三富 英雄
主任 荒井 光一 主任 堀江 俊紀
主任 長谷川守一 主任 亀山 行雄
主任 尾出 順 主任 滝田 和宣
水野 裕正 増子 知樹

墨田分室（墨田庁舎）

墨田分室長 村井 中
課長補佐（管理係長） 藤巻 文治郎
主任 高橋 公子 主任 原田 均
技能主任 戸田 信吉
鈴木 晶子
課長補佐（主任研究員） 岩崎 謙次
課長補佐（主任研究員） 朝倉 守
主任研究員 大泉 幸乃
主任研究員 宇井 剛
主任 山本 真理子
青木 郁子 堀江 暁 添田 心

八王子分室（八王子庁舎）

八王子分室長 上野 和義
課長補佐（管理係長） 小俣 文子
主任 小池 美枝 主任 保坂 たけみ
技能主任 比留間國彦
課長補佐（主任研究員） 川原井通義
主任研究員 池田 善光
主任研究員 田中 みどり
主任研究員 藤田 茂
主任 吉田 弥生
技能主任 福島 富子 技能主任 番場 ろく
長野 龍洋

生産技術部

部長 本阿弥忠彦

材料技術グループ

指定研究員 鈴木 蕃
課長補佐（主任研究員） 山本 真
主任研究員 小山 秀美
主任研究員 上野 博志
主任研究員 上本 道久
主任研究員 田中 実
主任研究員 吉川 光英
主任 阿部 聡 主任 清水 研一
主任 陸井 史子

大久保一宏 金子 真理奈

表面技術グループ

指定研究員（統括） 横山 哲男
課長補佐（主任研究員） 仁平 宣弘
主任研究員 土井 正
主任研究員 一色 洋二
主任研究員 茅島 正資
主任研究員 佐藤 健二
主任研究員 三尾 淳
主任 浅見 淳一 主任 田中 慎一
森河 和雄 水元 和成 青沼 昌幸 渡部 友太郎

精密加工技術グループ

指定研究員 佐々木武三
課長補佐（主任研究員） 片岡 征二
主任研究員 澤近 洋史
主任研究員 山崎 実
主任研究員 西岡 孝夫
主任研究員 森 俊道
主任 鈴木 岳美 主任 基 昭夫
主任 中条 知和 主任 横沢 毅
主任 樋田 靖広

森 紀年 浜島 義明

電子技術グループ

指定研究員 吉田 裕道
課長補佐（主任研究員） 蒔 正勝
主任研究員 寺井 幸雄
主任研究員 三上 和正
主任研究員 加沢 エリト
主任 平塚 尚一 主任 上野 武司
主任 小林 丈士 主任 天早 隆志
主任 清水 康弘

佐々木智恵 山田 万寿雄

計測応用技術グループ

指定研究員 加藤 光吉
課長補佐（主任研究員） 高田 省一
主任研究員 實川 徹則
主任研究員 神田 浩一
主任研究員 中島 敏晴
主任研究員 山本 哲雄
主任 林 国洋 主任 柳沢 正樹
主任 牧野 晃浩 主任 岩永 敏秀
児島 麻子 長谷川徳慶

精密分析技術グループ（駒沢庁舎）

指定研究員 谷崎 良之
課長補佐（主任研究員） 野々村誠
主任研究員 田邊 寛子
主任研究員 後藤 典子
主任研究員 小山 元子
主任研究員 中村 優
主任研究員 中川 清子
主任 金城 康人 主任 斎藤 正明
主任 佐々木 幸夫

電気応用技術グループ

指定研究員（統括） 金岡 威
課長補佐（主任研究員） 栗原 秀樹
主任研究員 河村 洋
主任研究員 殿谷 保雄
主任研究員 岡野 宏
主任研究員 山本 克美
主任研究員 永井 明良
主任 山口 勇 主任 重松 宏志
田原 輝久

情報システム技術グループ

指定研究員 宮田 勝雄
高度情報担当副参事 宮島 良一
課長補佐（主任研究員） 榎本 博司
主任研究員 大畑 敏美
主任研究員 坂巻 佳壽美
主任研究員 佐藤 正利
主任 新井 英喜 主任 土屋 敏夫
主任 山田 一徳
森 久直 高野 哲寿 北原 枢

放射線応用技術グループ（駒沢庁舎）

指定研究員 北原 明治
課長補佐（主任研究員） 須田 廣勝
主任研究員 重松 康司
主任研究員 宮崎 則幸
主任研究員 鈴木 隆司
主任 後藤 亮 主任 細淵 和成
主任 櫻井 昇
福地 良一 関口 正之 伊藤 寿 山田 隆博

製品技術部

部長

番場 紀久雄

製品科学技術グループ

指定研究員

小池 茂幸

課長補佐（主任研究員）

久慈 俊夫

主任研究員

並木 喜正

主任研究員

大久保富彦

主任研究員

三好 泉

主任研究員

伊東 洋一

主任研究員

鈴木 雅洋

主任研究員

木下 稔夫

主任 松田 哲 主任 小金井雅彦

園田 卓 田邊 友久 星野 美土里

資源環境技術グループ

指定研究員

横澤 佑治

資源有効利用担当副参事

棚木 敏幸

課長補佐（主任研究員）

東 邦彦

主任研究員

小坂 幸夫

主任研究員

飯田 孝彦

主任 永嶋 茂 主任 宮崎 巖

主任 大塚 健治 主任 瓦田 研介

主任 中澤 敏

茨田 正孝 長谷川明良 三森 啓介

アパレル技術グループ（墨田庁舎）

指定研究員（統括）

小柴 辰幸

アパレル製品開発担当副参事

中島 茂

課長補佐（主任研究員）

北原 浩

主任研究員

神宮寺勝紀

主任研究員

秋山 正

主任研究員

大橋 健一

主任 小高 久丹子 主任 嶋 明

主任 平山 明浩 主任 阿保 友二郎

主任 黒田 良彦

秋田 実 藤田 薫子

ニット技術グループ（墨田庁舎）

指定研究員

小林 敏信

課長補佐（主任研究員）

吉野 学

主任研究員

小林 かほる

主任研究員

藤代 敏

主任研究員

池上 夏樹

主任研究員

中村 宏

主任研究員

小柴 多佳子

主任 齊藤 晋 主任 山口 美佐子

主任 竹内 由美子

飯田 健一 板垣 章 松澤 咲佳

テキスタイル技術グループ（八王子庁舎）

指定研究員

栗田 征彦

繊維再資源化担当副参事

古田 博一

課長補佐（主任研究員）

関口 敏昭

主任研究員

原 秀樹

主任研究員

吉田 英敏

主任研究員

川崎 顯

主任研究員

樋口 明久

主任 窪田 宏 主任 木村 千明

主任 宮本 香 主任 片桐 正博

技能主任 山本 悦子 技能主任 原島 勝子

小林 研吾 榎本 一郎 小林 洋子 山本 清志

（平成14年3月31日現在）